興奮再現。

BIG SOUNDS
実用最大出力4.2W
TRK-8030 ¥43,800

持ち運んで楽しむか

クリアでナチュラルな音質の実用最大出力4.2W(2.1W＋2.1W、EIAJ/DC)のパワー。12cmウーハー(中低音域用)と3.5cmツイーター(高音域用)採用のスピーカー・システムが再現するリアルなパワーサウンド、心ゆくまでお楽しみください。

●FM／AM2バンドラジオつき
●(クロム／ノーマル)テープセレクター採用
●フルオートストップ
●外部スピーカー端子つき(別売り APS-80)使用
●ラインイン、ラインアウト端子、マイク端子(R用、L用各1個)つき

ステレオ パディスコ8030 TRK-8030 ¥43,800

●電源DC：9V(単1×6) AC：100V 50/60Hz カーアダプター(別売りD-70) ●大きさ 幅41.2×高さ25.6×奥行12(cm) ●重さ 5.0kg(乾電池含む)

システム パディスコ

組んで楽しむか

パディスコ8030はシステムアップできるラジオカセット。専用外部スピーカー(APS-80)の接続により、迫力あるステレオ・サウンドがさらに倍増。また、プレヤー(HT-320)を接続すればレコード音楽も楽しめます。(MM形カートリッジイコライザー MCE-70が必要)

●専用外部スピーカー、APS-80 別売り 2本セット¥11,800
●レコードプレヤーHT-320 別売り ¥25,800(レコードプレヤーを接続するにはMM形カートリッジイコライザー〈MCE-70〉別売り ¥4,500が必要です)

▲上の写真はステレオパディスコ8030をシステムアップしたものの一例です。
★カセットレコーダーで録音したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。
★商品のお問合せ、クレジットのご相談、カタログのご請求は、お近くの日立の家電品取扱店へお気軽にどうぞ。

品質を大切にする〈技術の日立〉
HITACHI CASSETTE RECORDER

日立家電販売株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)502-2111
日立クレジット株式会社 〒105 東京都港区西新橋2-15-12(日立愛宕別館)TEL(03)503-2111

★「日立カセットレコーダーの保証書」は必ずお受けとりください。お買い上げの際に、販売店名、ご購入年月日が記入されているかを、お確かめになり、大切に保存してください。

王者・西ドイツがやってくる

～七月初め全日本らと三戦～

西ドイツ・シリーズの全貌が明らかとなった――日本協会は、5月26日の常務理事会で、7月の西ドイツ男子ナショナルチーム（世界選手権優勝チーム）を迎えての国際親善試合について、その日程や、西ドイツの陣容などを明らかにした。それによると、西ドイツは、西ドイツ協会、B・ティーレ会長を団長に役員9、選手15名で、中国で5試合（予定）のあと、7月3日午後3時15分来日、5日京都で全日本、6日名古屋で大同特殊鋼(愛知、全日本選手権チーム)、7日東京で全日本とそれぞれ対戦する。来日メンバーは、別掲のとおりで、昨春、40年ぶりで世界の王座に返り咲いた黄金メンバー12人が話題の名将、V・ステンツェルヘッドコーチに率いられて来る。

一方、日本側は、秋のモスクワ・オリンピックアジア地域予選を控えて、チャンピオンの胸をかりる絶好の機会をつかんだわけだが、6月上旬の強化合宿を経たうえで、6月なかば、その対戦メンバーが正式発表されることになっている。

2月、世界の女王・東ドイツ来日につづいて、日本協会の放つビッグ・シリーズだ。

しかし、来日までには、かなりの曲折があり、たぶんに幸運も手伝った。

昨春、コペンハーゲン（デンマーク）での第9回世界男子選手権で、おおかたの予想を裏切って、西ドイツが、第1回以来、実に40年ぶりで優勝した時から日本協会は同国の招待を働きかけていた。

ところが、西ドイツ協会（DHB）は、すでに、一九七九年末までの、行動スケジュールが出来あがっており、来日はとてもむりという返事が伝えられ、その代り、日本のナショナルチームを同国に迎えたい、ということで、今春の訪独強化遠征（既報）が、実現した。

西ドイツの来日は、早くても「八十年上半期」と伝えられ、日本協会は、ほぼ、このシリーズの実現をあきらめていた。

それが、今年になって、突然、西ドイツチームが、中国遠征へ向かうことになり、その帰途、日本へ立ち寄ってもよい、との連絡があったのだ。

日本協会は、時期が、日本リーグ（前期）の日程と重複するため、いちぢは、お流れになるのではとみられていたが、この機を逃して世界チャンピオンを迎えることはできない、全日本の強化には絶好のタイミングとの意見が支配的となり、4月、荒川理事長が西ドイツへ飛んで、「来日決定」にこぎつけた。

31年の興奮もう一度

日本協会が、〈西ドイツ〉にこだわる理由は、数多くある。

西ドイツは、近代ハンドボールの祖国といわれ、特に、日本は、一九三六年のベルリン・オリンピックで初採用されたハンドボールを、四十年の東京オリンピック（中止）でも引き継ぐことが決まっており、それに備えて、「日本ハンドボール協会」が誕生した。

以来、日本のハンドボール界はなにかにつけて、本山・西ドイツハンドボールを模範として発展、昭和三十一年には、当時、十一人制で無敵を誇った世界の王者・西ドイツを招くことに成功した。

このチームが、また、強烈な印象を日本の愛好者、ファンに植えつけ、その興奮はいまだに語り草。さすが西ドイツのハンドボールと、その評価は、高まる一方となった。

世界のすう勢は、その後、東ヨーロッパ勢の驚異的な進出によって、西ドイツは、国内事情もからんで、しだいに昔日のおもかげを薄らさせ、日本の専門家たちの"西ドイツ信仰"も、熱が冷めかけていた。

そこへ、王国の復活である。日本協会はかってない意気ごみで西ドイツ招待の実現に向かった。

ベストメンバー揃える

さて、DHBから5月末、日本協会あてに送られてきた「来日選手名簿」は、さすがに豪華な顔ぶれである。

昨春以来、西ドイツは、ほとんど、優勝メンバーで戦かわず"長期覇権計画"ともいおうか、次々

「ハンドボール」

54年6月号（第175号）目次

【表紙写真】関東学生春季リーグ・日体大―筑波大戦、日体大・長野のジャンプシュート【スポーツ・イベント社提供】

と無名の新人をデビューさせていた。

3月の対日本戦でも、名の知れた選手はバルッケ、メッフレ、オーリーぐらいのもの。

今回も、実力の知れた中国、日本相手では、第一線メンバーは半数程度ではないか、などともいわれたが、届けられたリストをみて強化関係者は大喜びだ。

これは、中国遠征という西ドイツ国家そのものの肩入れ、さらに日本との長く古い友好関係によるものといってよい。

ティーレ会長自からが団長をつとめるのも異例である。

名手ホフマンらのGK陣

来日メンバーのプロフィールを探ってみよう。

GK陣は、**ホフマン**（TV・グロスバルスタット）、**ラウアー**（VfL・グンメルスバッハ）、**ニーマイヤー**（GW・ダンケルセン）の金メダルトリオ。

このうち、ホフマンは若返りの西ドイツにあって唯一人の30代。

間もなく、西ドイツ史上、GKとして初めて公式国際試合出場100回をマークする。

彼の名声を一気にあげたのは、モントリオール予選の東ドイツ戦で、タイムアップ寸前、これを入れられたらモントリオール行きがなくなるというPTをストップした美技である。

天才的なカンに加えて、ひたむきなトレーニング。西ドイツも、ホームクラブも、彼の好守に、いくたび救われたか判らない。

控えのラウアーのキャリアも長い。常にホフマンの陰にかくれてはいるが、名門グンメルスバッハのゴールを守り、今年も、同クラブを、ヨーロッパ・カップオブ・カップスの優勝に導いている。

ニーマイヤーは、世界選手権初出場で初優勝のラッキーボーイ。

モスクワ後は、彼の時代になることは、間違いない。

豪放、巧妙の宿将たち

FP陣では204cmの**ブンダーリッヒ**（VfL・グンメルスバッハ）が、その豪快な攻撃で、日本のファンを驚ろかすだろう。

エース・デッカルムの重傷から彼のシュート力への依存度が、にわかに高まっているが、彼の成長いかんがモスクワで西ドイツが金メダルをとれるか、どうかにもかかってくるとさえいわれる。

大型の割に、器用さも持ち合わせているといわれ、全日本が、彼をどうマークするか、一つのみどころとなる。

宿将**スペングラー**（TV・ヘッテンベルグ）。

現ナショナルで唯一人、74年の世界選手権経験者だ。攻守とも、そのリードマンシップは、ヨーロッパでも高い評価をうけており、いかにも伝統の西ドイツナショナルの主将らしい風格がある。

コーチで来日するルドルフ・スペングラー氏は実父。この親子鷹は、マスコミの話題をさらうだろう。

スペングラーと並ぶ**ブラント**（VfL・グンメルスバッハ）の試合ぶりも、注目に価する。

ディフェンスの巧さは、世界でも屈指、その闘志にあふれたプレーは、西ドイツファンの圧倒的な支持をうけており、専門誌の人気投票で（七八年度最優秀プレイヤー）に選ばれている。

クルースパイス（TV・グロスバルスタット）の名も、忘れてはならない。

195cmの上背を利しての攻撃力は、つねに各国からマークされながら、ここぞという時に必ずといってよいほど、ゴールを決める。

今シーズンは、ホームクラブにヨーロッパ・カップ優勝をもたらす原動力となっている。

リーグの得点王エーレット

平均した得点力を誇る西ドイツのなかでエースは聞かれると、誰もが迷い、それぞれ別々の名をあげるというが、最近のデキからすれば、文句なし**エーレット**（TUS・ホフワイエル）だろう。

現代のヨーロッパでは、さほど大きいほどではないが、モントリオール・オリンピック頃からか、その突進力にモノをいわせ、毎試合ハイスコアをマーク、特に、今シーズンは、西ドイツリーグ（ブンデス・リガ）で152点（25試合）をあげ、得点王になっている。

バルッケ（GW・ダンケルセン）の評判もあがってきた。

昨春の世界選手権で、彼は決勝戦だけ出場、貴重な3ゴールをあげている。

190cm近いが、プレーは技巧的といわれ、彼の存在は、西ドイツ攻撃陣を、いっそう多彩なものにさせる。

こうした中堅では、**ファイ**（VfL・グンメルスバッハ）も、いぶし銀的なものを感じさせる。

西ドイツ・シリーズ

▽来日　7月3日15時15分成田空港着　CA921便
▽移動　4日　東京→京都
▽第1戦　5日　対全日本①　京都府立体育館　18時30分開始
▽第2戦　6日　対大同特殊鋼　名古屋市体育館　18時
▽第3戦　7日　対全日本②　東京体育館　19時
▽帰国　8日21時30分成田空港発　LH951便

西ドイツ男子ナショナルチーム来日選手団

・団　長　ベルンハルト・ティーレ（西ドイツ協会々長）
・役　員　エンゲルベルト・ヘック、カール・ヴァイトマン、フランク・ビルケフェルト
・監　督　ハインツ・ヤコブセン
・ヘッドコーチ　ヴラド・ステンツェル・**コーチ**ルドルフ・スペングラー
・ドクター　ハインツ・O・レーベルグ・**マッサージャー**ユルゲン・ゾーンゲン

・選手

		年令	身長 cm	体重 kg	公式国際試合出場	74世	モント	76世
G K	マンフレッド・ホフマン	(31)	191	92	91 回		○	○
	ルドルフ・ラウアー	(29)	192	92	61		○	○
	ライネル・ニーマイヤー	(24)	190	83	24			○
F P	ハイネル・ブラント	(26)	193	84	108		○	○
	エルハルト・ブンダーリッヒ	(22)	202	97	32			○
	クラウス・ファイ	(24)	193	88	34			○
	フランク・ダムマン	(22)	185	79	6			
	マンフレッド・フライスラー	(21)	195	100	33			○
	ペーター・マイジンガー	(24)	186	88	11			
	クルト・クルースパイス	(27)	195	95	86		○	○
(主)	ホルスト・スペングラー	(29)	181	82	108	○	○	○
	ハーラルト・オーリー	(22)	191	84	19			
	アルノ・エーレット	(25)	180	75	72		○	○
	アルヌルフ・メッフレ	(21)	184	83	25			○
	ディーター・バルッケ	(25)	187	80	38			○

（注）公式国際試合出場数は本誌調べ（79年5月現在）

どちらかといえば守備型でグンメルスバッハにおけるブラントとのコンビは、鉄壁といわれる。

マイジンガー（TV・グロスバルスタット）は、世界選手権優勝後に加ったアタッカーだ。

しかし、その後のビッグカードにほとんど名を連ねていることからみると24才と、いささか遅咲きながら、その素質は、すばらしいものがあるに違いない。

春秋に富んだ大器4人

春秋に富んだ大器が4人いる。**フライスラー**（TV・グロスバルスタット）、**オーリー**（TV・フッテンベルグ）、**メッフレ**（TUS・ホフワイエル）、**ダムマン**（VfL・グンメルスバッハ）だ。

このうち、オーリーとダムマンが22才、あとの二人は21才。

世界選手権に出ているのはフライスラーとメッフレ。

フライスラーは195cm、100kgという巨漢で、西ドイツ守備網の中央にどっかと位置するのは"壮観"だ。得点も33試合で54点ある。

対照的にメッフレは、若さを武器にした速さでゴールをかせぐ。世界選手権での12得点ですっかり自信をつけたが、なぜか、そのあと出場機会がなく、今年になって再び顔をみせはじめた。

オーリーも、将来はナショナルの中心にと期待されている選手。3月の日本戦で6点を叩き出しているが、レギュラー争いに加わるためにも、今回の遠征に加った意味は大きい。張り切るだろう。

ダムマンは、来日メンバーのなかで、いちばん新しい顔である。デビューが、今春1月のトーナメント。貴重な左腕で、遠征メンバーの席を射止めた。

本来ならば、金メダルメンバーで、モスクワもと狙うところだが、西ドイツは、"長期覇権"を目指しレギュラー争いをし烈化することによって強力チームを築きあげようと、驚くべきほど、新人、若手の発掘を進めている。

荒川理事長の報告では、4月現在、ナショナルチームの総勢は40人、ほかにジュニア40人という大布陣だ。

君臨するステンツェル

群雄ひしめく選手団の頂点に立つのがV・ステンツェル監督である。（正式の肩書きはブンデストレーナー、つまりヘッドコーチ。ヨーロッパチームの「監督」は、日本でいえばマネジャー的なチームリーダーを指す。本誌では、慣用上、ステンツェル氏を監督として扱います）

彼については、すでに語りつくされている感じだが、七二年のミュンヘン・オリンピックでユーゴを金メダルに導いた名将、れっきとしたユーゴ人だ。

そのあと、西ドイツのクラブチームにコーチとして招かれ、74年9月、DHBによって、ナショナルチームの指導をまかされた。

74年といえば、その年の春の世界選手権で、西ドイツは屈辱的な9位に落ちた年である。

非難の渦まく中で、DHBは、他国人であるステンツェル氏に、さい配をゆだねたのだが、当然、この人事は、新たな論議の火だねになった。

だが、DHBは、ステンツェル体制を支持したが、日が経つにつれ、ステンツェルの採る強化方針

は、DHBに不安をもたらすばかりであった。

彼は、王国復活には、チームの大改造が必須条件とばかり、それまでの主力を、次々とチーム外に出し、代りに、全国から若い大型選手を連れてきた。

無名軍団率いる手腕

モントリオール・オリンピック予選の相手は、前掲のように東ドイツだったが、そのスポーツライターたちは、西ドイツの新陣容を「ベビー」と名付けたほどだ。

ステンツェル氏は、いささい構わず、この若者達を鍛えに鍛えた。

それは、ユーゴ時代、鬼コーチといわれたそのままだったが、練習後にかもし出される彼の不思議な人柄、魅力が、選手たちをついてこさせた。

そして、モントリオール出場、4位に浮上。

もう、この頃になると西ドイツにおけるステンツェル株はあがる一方だ。

同氏の〝独走〟は、ますますつづき、モントリオールのメンバーも半数近くが放出され、78年の世界選手権メンバーは、よほどの記者でも、知らない顔のほうが多かった。

結果からいえば、ご承知のとおり、平均年令23才強というその無名集団が、西ドイツに40年ぶりの王座を持ち帰ったのだが、卒直のところ、DHBにしても、ステンツェル氏にしても、優勝の標的は、モスクワ・オリンピックにあったのではなかろうか。

それが、波にのった若さの恐しさで、あっという間に、最上位へかけ上ってしまったのだ。

嬉しい誤算、二年早い勘定といえた。

モスクワへの手の内示す

世界選手権獲得後、DHBは、ステンツェル氏と、一九八二年夏までの契約を結んだ。

80年のモスクワ、82年の第10回世界選手権は自国に招くことが、すでに決まっている。

DHBは、王国の面子（メンツ）にかけて「世界—オリンピック—世界」という、かつてどの国も成し遂げ得なかった大野望へののろしを打ちあげたのである。

ステンツェル氏に異存はあろうハズがなかった。

彼は再び三たび、タレントスカウトのため、意欲的に足を運び、世界選手権後、22試合に起用した選手は実に32人。この1年間にデビューしたのは、ダムマンをはじめ14人を数える。

そうしたなかで、ステンツェル氏が、極東遠征のためにリストアップした15人は、明きらかに、モスクワ・オリンピック用である。

それは、世界選手権後、同氏が初めて明かしたオリンピックへの手の内ともいえよう。

DHBには一つの計算がある。

モスクワの予選リーグで西ドイツは、アジア代表と顔を合わせる。

現段階では、中国の登場は難しくなったが、日本がアジアの代表権を手にするのは九分通り固い。

ぜひとも、その1年前に手合せをしておきたいのだ。遠いアジアなら、ヨーロッパ各国の偵察の目も気にしなくてすむ。

悲運のエース・デッカルム

DHBとステンツェル氏のモスクワ作戦は着々と進み、いささか飛び入りだが、今回の中国・日本遠征も、その強化プランのなかでかなりのウエイトを占めることにつなげた。

ただ一つ、DHBにとっての誤算は、巨砲デッカルム（25才、193cm、VfL・グンメルスバッハ）の重傷である。

本紙既報のとおり、デッカルムは、今春3月、ヨーロッパ・カップ・オブ・カップスの準決勝で、相手選手と激突、頭部骨折というアクシデントに見舞われた。

エースアタッカーの姿が、突如と消えたのは、いかに層の厚さに自信ありとはいえ、コーチングスタッフの顔色をかえさせた。

少年時代、陸上の10種競技で鍛えたジャンプ力、遠投力、スタミナを文字どおり駆使して〝世界のエース〟へまっしぐらに突進していたデッカルムの勇姿を見られないのは、かえがえすも残念。

来日前、中国で5試合

西ドイツチームは、6月21日中国へ入り、中国ナショナルとの3試合を含み、同地で5試合のあと成田へおり立つ。

31年の西ドイツ（11人制）48年のユーゴ（ミュンヘンオリンピック優勝）、今春の東ドイツ女子を迎える前と同じような、いや、それ以上の興奮が早くも走る——。

過去の日本—西ドイツ戦

◇31年9月（大阪・11人制）
西ドイツ 27—16 日本

◇同（東京・11人制）
西ドイツ 28—12 日本

◇42年1月（スウェーデン・第6回世界選手権）
西ドイツ 38—27 日本

◇44年7月（西ドイツ）
西ドイツ 24—16 日本

◇49年3月（東ドイツ・第8回世界選手権）
西ドイツ 30—24 日本

◇51年7月（カナダ・モントリオールオリンピック）
西ドイツ 19—16 日本

◇54年3月（西ドイツ）
西ドイツ 27—17 日本

1979

昭和54年度から“より大きな補償”の保険になります

スポーツ団体だけでなく 子ども会，婦人団体，地域のクラブ等の方々も 10名以上のグループで，ご加入になれます

●保険料，保険金額は（お一人につき）

区分		保険料	死亡・後遺障害保険金額	医療保険金額	
				通院中	入院中
第1種	A	340円	12,000,000円 後遺障害の支払いは 3％～100％	日額 1,000円 支払限度日数 90日	日額 1,500円 支払限度日数 180日
	B	400			
	C	680			
第2種	A	9,600			
	B	3,200			
	C	1,600			

（注）特に希望がある場合は，保険料，保険金額が上記の半額になるS型の加入も可能です。

●第１種，第２種ＡＢＣの区分は次のとおりです。

第1種	A	スポーツ少年団，子ども会，こてきバンドなどの幼少年グループ
	B	ＰＴＡ，旅行同好会，万歩クラブなどで文化活動，奉仕活動，軽スポーツなどを行う団体
	C	ママさんバレー，早起き野球などの地域スポーツ団体
第2種	A	山岳会，スキンダイビング，リュージュなど
	B	スキー，ラグビー，サッカー，柔道，ボクシング，空手，馬術など
	C	卓球，テニス，陸上，水泳，軟式野球，バレー，ボート，体操競技など

●体協公認等の指導者も10名以上まとまった場合は第１種Ｃで加入できます。また，指導する団体の一員としても加入できます。

●適用の範囲（担保条件）は
- ○加入者の所属する団体の管理下における活動中の事故。
- ○団体が指定する集合，解散場所と加入者の住所との通常の経路往復中の事故。
- ○ただし学校管理下（学校安全会の給付対象内）における事故は不担保。

●保険期間
毎年４月１日より翌年３月31日まで。ただし，中途加入でも翌年３月31日までです。（申込は３月１日から受付ます）

●加入申込み，資料の請求，お問合せは……
スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課にあります），東京海上火災の営業店にご照会ください。

（財）スポーツ安全協会
東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館
電話 467－3111（代） 直通460－6263

日本協会専門委員会だより

審　判

①ブロック別に審判講習会を開催

▽九州（2月9日・熊本済々黌高校）
▽東北（2月16日・秋田湯沢高校）
▽中国（3月3日・岡山工業高校）
▽近畿（3月3日・大阪なにわ会館）
▽関東（3月17日・日本体育協会）
▽四国（3月25日・松山北高校）
▽北信越（3月25日・柏崎工業高校）
▽東海（3月27日・名古屋市体育館）

以上によって、各都道府県審判委員長が集合し、昭和54年度競技規則全般について、またＩＨＦからの公式解釈の説明と全国統一見解を企るため、ルール研究委員会より委員を派遣して講習会を開催した。

②ＪＨＡレフェリーコース（前期）を実施

若くて優秀な審判技術を持ったレフェリーの養成のために、51年から行われているのが、このＪＨＡレフェリーコース。第3回は、3月28日～30日まで参加者33名を集めて東京で前期を開講した。講義と実技研修を実施、参加者は非常に熱心に研修した。後期は8月27日～29日を予定している。後期受講資格は前期受講者に限る。後期では実技と筆記で試験を行い、また体力テストも実施する。その結果、B級審判員の技術を修得していると認められれば、B級審判員の資格が与えられる。

なお、56年度からは参加資格が25歳までの者となる。

③ＡＢ級公認審判員審査を実施

3月30日～4月1日にわたり、各級が二日間、ペーパー、実技、体力テストを行った。

受験者数は、Ａ級・19名、Ｂ級・33名。合格者数はＡ級・17名、Ｂ級・26名であった。なお、ペーパーテストの結果は、最高100点、最低57点。この試験問題は本紙4月号（第173号）に掲載ずみである。

実技テストの前後に行った体力テストは左図のとおりだが、今回のテストでは最高タイム15秒1、最低タイム18秒1であった。参考にしてチャレンジしてみて下さい。

バック走
バック走
バック走
センターライン
フリースローライン
ゴールエリアライン
ゴールライン

総　務

日本協会の新機構について

昭和54年度から日本協会の機構が大きく変わりました。

▽「部」と「委員会」

一口でいえば、現行体制の強化が狙いですが、日本協会の執行機関である理事が各ライン（部）の仕事を分担執行するということにおいては従来と変わりませんが「委員会」というのは企画、普及のように協会の仕事を分担執行する人のほかに、年輩の経験豊かな人、アウトサイダーなどに委員になってもらうような委員会があってしかるべきで、そのような委員会と、仕事を分担執行する委員会がごっちゃになって紛らわしい。

そこで原則として執行責任者は、各「部」に所属する理事とし、各委員会は各部の重要事項を審議、決定するものとした。ただ同じ理事でもブロック選出理事は遠方になって、常時仕事を分担できはしないため、各委員会の一部の委員、とくに東京周辺在住の委員に手伝っていただかねばなりません。

▽「全国理事会」と「代議員会」

従来全国理事会は単なる審議機関のような感を呈しているが、最高の議決機関として代議員会があって各地方の意見を反映できるのですから、会長推せん理事の比重を大きくして執行体制の強化を図る必要があるでしょう。

さて、その新しい機構での総務部の仕事は、協会各部の調整、地方協会・加盟団体との連絡、そのほか、他の各部に属さない仕事ということになります。

▽総務部のありかた

旧総務委員会は、全日本総合選手権大会を含めた四十周年記念事業の実行や、チェコ―東ドイツとの国際親善東京大会の主管などをはじめ、いろいろな仕事が総務委員会に集中して繁忙を極めましたが、今年度からは総務部本来の仕事に専念できるでしょう。

日本協会の懸案事項は、広報体制、普及活動の充実、ナショナルチームの強化、財政問題など、難問が山積しております。これらの事務の中心となる事務局も整備しなければなりません。財政の問題ともからみますが、ここ十数年の事業の拡大を考えれば事務局の増員は避けられないでしょう。

ハンドボールの普及の遅れている地域については、県協会と協同して、重点的に普及活動を強化しなければなりません。そのためには、日本協会と地方協会の、より一層緊密な意思疎通も必要となるわけです。

◇　◇　◇

日本協会専門委員会だより

国際

ＩＨＦ（国際ハンドボール連盟）は6月23日から30日まで、ユーゴのプラ市で開く「ＩＨＦレフェリー・コーチシンポジウム」のプログラムの大要を伝えてきた。

日本からは、岡前義春理事（審判部長）が出席の予定である。

このシンポジウムは、各国の最上級レフェリーとコーチのみが出席できるもので、その数も、各国2名に制限されている。今回は、ユーゴ協会の伝統的な催しである「ユーゴ・ハンドボールスクール」と「国際B級レフェリーヨーロッパ地域講習会」も併催されることになっており、全参加者の数は千名をこすことになりそうだ。

ＩＨＦシンポジウムのプログラムは「モントリオール大会以降のハンドボール発展に関する批評的分析およびゲームを積極的に進める方法論」をカール・Ｅ・ワング、イオン・クンスト両氏が講演するほか、「レフェリーの観察プロセス」（エリック・エリアス氏）、「ミニハンドボールをめぐる諸問題」（ガブリロ・ゴジュニック氏）、「攻撃時間制限の導入の可能性と実行上の問題点」（ジャニス・グリンベルガス氏）、「チーム管理の重要性」（ハインツ・シュッター氏）、「近い将来のＩＨＦ総会で進められる提案のあったルール改正について」（ヴェルナー・ヴィック、エリック・エリアス両氏）といった講演、発表が中心になっている。

このうち、「攻撃時間制限の導入…」は、いわゆる45秒ルールと呼ばれるもので、かねてから、ソ連などが強く提唱していた。

ＩＨＦ筋では、これまで黙殺の形をとりつづけていたが、今回初めて、公式の場に、このテーマをのせたのは注目される。

一説には、この大会と同時に開かれる「ユーゴ・トロフィ国際トーナメント」は、45秒ルールによって行われる予定と云われ、出席者が、どのように反応するか、興味深い。

また、「ミニ・ハンドボール…」は近年、北欧を中心に盛んになってきているもので、近い将来は、ヨーロッパの交流ゲームも、と伝えられている。ルールは各国まちまちだが、デンマークでは、コートはバスケットボールの大きさでゴールは、一般用と同じものを使用している。我が国でも、小学生ハンドの普及を考え合わせた時、非常に興味深い議題である。

また今回のシンポジウムでは、将来のハンドボールのモットーについての全体討議も行われる。

これは、近年のハンドボールが荒れるにまかせ、本来のボールゲームの美しさを損ないはじめているという批判に応えてのもので、ここでの意見の集約が、二年後に予想されるルール改正に大きな影響を及ぼすとさえみられている。

技術

「技術委員会の新機軸について」

技術委員長　近藤金博

今までチーム作り一本に専念し、現場ばかり手がけてきましたが、実業団連盟より初めて協会理事として参加したところ、技術委員会を担当することになりました。

大任を遂行できるかどうか心配ですが、安藤競技部長の指導のもとに一生懸命努力するつもりです。

昭和53年度まで行なわれてきた技術委員会の事業が、組織の変更と共に分担の区分が変わり、普及部その他で実施されるため、何ひとつ継続事業がなく、今年度（昭和54年度）より、すべて新規に方針をたててスタートするわけです。

計画にあたり、理事新任で右も左もさっぱりわからず、部長の協力を得て何とか形を作ってみましたが、運営の状況によっては、変更していかなくてはならないことも多くなると思っています。

技術委員会としては、今後以下の点について活動していく予定です。

一、競技部の中に技術委員会と審判委員会とが設置されていることを考慮し、現場でよくみられる競技者対審判員のトラブルを、審判委員会との接点をもって処理する。

二、競技者の対象別ルールと競技技術の検討。とくに傷害防止の観点から以上の点を検討する。

三、中央委員会をできるだけ多く定期的に行ない、各ブロック委員との連絡、交流を密にして各地の指導者、技術者の意見を集約し、ハンドボール技術の向上、発展の一助になるよう努力する。

以上のような方針で昭和54年度をスタートするわけですが、微力な私たちがどこまでできるか……。

ただただ技術委員会の委員全員が一生懸命努力するつもりですので、皆さま方のご指導、ご助力をぜひともお願いする次第です。

技術委員会の組織

競技部
審判委員会 ⟷ 技術委員会
中央委員
各連盟代表委員
ブロック代表委員
各県代表委員

日本協会加盟団体リポート

全日本実業団連盟

中学、高校、大学でプレーしていた方々、ぜひ社会人になられてからも続けてほしいものです。現在では各企業や、公的団体に百二十チームが存在しています。ですから社会人の方々にも、ハンドボールチームはかなり身近かな存在になっているはずです。

さて、皆さんにハンドボールを楽しく続けていただくためにも、実連の基本となっているところの登録規定などを紹介しておきましょう。

〔54年度登録規定〕

▽基本登録料　年間千円（ただし5年分前納のこと）

▽級別年度登録料　**A級**―年間5万5千円、選手権大会に予選なしで参加できるチーム。基本的には男女各10チーム。**B級**―年間3万5千円、男子前年度トーナメント大会のベスト8チーム（上位2チームはA級）、またはそれに準ずるチームで全国トーナメント大会に予選を経ないで優先参加できるチーム。**C級**―年間5千円、全国大会に通じる大会に参加するチーム。**D級**―級別登録金なし、各府県別または全国大会に関係のないブロック大会にのみ参加するチーム。（A、B、C級については日本協会、所属都道府県協会を通じてA登録を必要とする）

〔五ブロックとは〕

▽関東、東北ブロック▽中部、北陸ブロック▽近畿ブロック▽中四国、九州ブロック▽自衛隊ブロック、の五ブロックで全国大会の予選が行われている。

〔今後の行事予定〕

9月　実連ジュニア合宿――自衛隊の協力により、日本協会技術部、強化部、当連盟強化部、指導普及部の指導陣のもと、30名が参加して五日間の予定で行う。

55年2月10日～13日　第2回全日本実業団男子トーナメント――32チーム参加・新居浜市。

このほか、以下の大会が期日未定ながら予定されている。

▽第7回女子会長杯大会▽第8回日韓社会人交流（男子・韓国来日、女子訪韓）。

さあ皆さん、どしどし参加されんことを期待します。

全日本実業団ハンドボール連盟
理事長　山田　稔

全日本教職員連盟

第22回
全日本教職員ハンドボール
選手権大会実施要項

今年も国体リハーサル大会として、教職員大会が栃木県（八月八日～十二日）で盛大におこなわれます。（実施要項は、都道府県に送付してありますので期日までに申込んでください）。

一、期日　昭和五十四年八月八日（水）～十二日（日）（五日間）
二、会場　国学院大学栃木高校
三、種別　男子の部・女子の部
四、資格　日本協会に登録された教職員チーム
五、申込　昭和五十四年六月三十日までに必着
六、規定　昭和五十四年度日本協会競技規則による
七、試合　トーナメント方式
八、その他　実施要項を参照下さい。

8月に教職員連主催の研修会

全日本教職員連盟では、今年度の「ハンドボール研修会」を8月7日午後2時から、栃木県、国学院大学栃木高校　生徒会館で開くことになり、発表者を募集しています。

作年より、発表者によって〈紀要〉を作成、一度だけの発表に終わらず、今後の資料として残すことが計画されている。

○……申しこみ要領……○

▽発表有資格者　特に問わず。

▽発表申しこみ　54年6月30日までに、埼玉県戸田市新曽一〇九三埼玉県立戸田高校内、全日本教職員ハンドボール連盟（〒三三五）あて。発表テーマ（題目）をそえることが原則だが、未定の場合は、発表する由だけをハガキに書いて連絡下さい。

▽発表期日　8月7日午後2時、国学院大学栃木高校　生徒会館

▽紀要原稿の作成について、発表者には、連盟から紀要用の原稿用紙を送ります。

尚、今年から各チームに一冊送付します。

全国高体連ハンドボール部

◇全国高体連ハンドボール部は今年、創立30周年を迎える。

高校界は、日本ハンドボール界を支える大きな流れとして、その発展に寄与してきたが、自からの球史も、30年の年輪を刻むことになった。

高体連では、30周年を記念して8月2日午後6時から神戸市兵庫区の神鉄会館ホールで「記念式典」を開く。

なお、第30回全日本高校選手権は8月1日開会式、2日から7日まで競技を行なう。

会場は神戸市中央体育館ほかで史上初めて、男女全試合、インドアで実施される。

◇第13回（女子第6回）日韓高校交流は、日本側男女代表チームが遠征して、今夏8月17、19の両日ソウルで行われるが、全国高体連は、その代表チームに「関東高校選抜軍」を派遣することになり、関東高体連は、このほど、男女のメンバーを次のとおり発表した。

一行は、8月16日成田を出発する予定。

日韓高校交流は、52年から各競技別の単独交流となり、52年は「九州高校選抜」（男女）が訪韓、昨年は、韓国から、男・大田体育高、女・忠州女商が来日、九州ブロックで各2試合行われている。

男女とも、このところ日本勢は分が悪く、男子は、48年以来、2引き分けをはさんで10試合白星がなく、女子は52年以来4連敗である。

○…遠征メンバー…○

・団長　遠藤健次（日本協会理事）・総務　住尾勉（関東高体連）

・男子　監督　永井勝雄（東京）、コーチ　川上整司（中大付監督）

・選手GK　山本純一（明星）、羽深和人（川口工）、FP　実方智（中大付）、福士唯男（拓大一）池田勝（川口工）、山岸茂夫（川口北）、柴沼修一（土浦一）、前田博司（相模原）、岡好（馬頭）、今井文彦（富岡）、菊島裕次（日川）島田明夫（清水）。

・女子　監督　結城昭夫（埼玉）・コーチ　柏崎茂（結城二監督）、

・選手GK　久保真理子（佼成女）勝沼かよ子（結城二）、FP　毛利敦子（藤村女）、斉藤千晶（拓大一）、榎本智春（浦和市立）、大嶋かおる（浦和西）、小野瀬博子（麻生）、山本絵里（高浜）、岡本節子（小山城南）、土筆玉実（吉井）金井美雪（日川）、高野真由美（昭和学院）。

〈注〉韓国側チームについては公表されていないが、本誌の得ている情報では、男子は東亜高、女子は仁川女高、忠州女商が、今回のシリーズの代表になったといわれている。

編集委員会より　おわびとお願い

機関誌「ハンドボール」の発刊が遅れ読者、広告提供各社の皆様にご迷惑をおかけしております。深くおわび申しあげます。

本年度より編集委員会のメンバーが一新され、この6月号より、編集業務を担当しておりますが、委員一同現状の回復に努力しておりますので、いましばらくの猶予をお願い致します。

五月初旬に第一回中央委員会を開き、編集基本方針となる機関誌の性格について検討しました。その結果、協会および加盟団体の活動を広く読者の皆様に理解していただくとともに、皆様の意見、助言を聞き、対話のある機関誌をめざすことになりました。

協会、および加盟団体、専門委員会などの活動状況を広く読者の皆様に理解していただくために、毎月機関誌の3～4頁をさき、固定した広報コーナーを設けました（今号6～9頁など参照）。このコーナーにより、協会とその専門部会および加盟団体の運営、活動状況がひとめでわかるようにしました。

また読者の皆様からいただいた本誌、協会、加盟団体などに対する意見、質問に対しては、このコーナーを利用して、お答えできるようにしていくつもりです。

読者個人の技術的な悩みごとから、指導者としての難問や疑問点まで、また協会や加盟団体、機関誌に対する意見や助言などがありましたら、日本ハンドボール協会編集委員会あてに、どしどしお寄せ下さい。

以上の点を機関誌の編集基本方針として、今後の編集活動を進めていく予定です。

機関誌編集には不慣れな私共ですが、できる限りの努力をしていくつもりです。

今後とも、機関誌「ハンドボール」をご愛読いただきますようよろしくお願いいたします。

（編集委員会）

強化部の動き

日本協会強化部長　渡辺慶寿

強化委員会（現在強化部）が発足して三年目を迎え、一見軌道に乗った感があるが、強化を担当する側から考え、今一歩の突っ込みが必要となろう。というのは、真の強化活動とはメンバーが実践にともなった内容活動が必要であり、単に委員会会議のみのものであってはならないと考える。強化委員会メンバーの選出は他の部あるいは、委員会と異なり、強化に関連する各連盟の代表者によって構成されており、それぞれの委員が各層の強化の責任ある立場をとっていることが望ましい。しかしこの点については、各連盟内の強化あるいは各委員の自覚にゆだねなければならないものがある。また単に個人の立場を追求するのみだけでなく、協会の委員会として自覚しなければならないであろう。それが協会、委員会そして現場の強化の結び付きになるのではなかろうか。先きにあげたごとくこの点の策が軌道にのれば真の成果が充分期待できるものである。また強化は、いうまでもなく委員会活動のみで達成されるものではなく、個人、団体の協力がなければならないし、その点での体制はあるいみでは充分であると考える。

今年度に入り強化委員会は、四月十五日、五月十三日の二回開催した。強化委員会は、基本的にはメンバーを変えない方針であったが一年間女子強化部長を勤めた横地宇吉氏が部長を辞任し、交代として柳井文治氏が現在部長を勤めている。

今年の強化委員会の最大の事業としては、オリンピックアジア予選となる。モントリオールオリンピックに男女出場、女子は五位という偉業を果したが、前回の世界大会アジア予戦で韓国に敗れ、その雪辱が果せるかは、大きな課題となろう。池田監督になり"九ケ月目に入っており、一歩一歩着実に強化の成果を上げているとみている。

また幸いなことは、台湾で大会が開催されることが予定されており、条件的には、韓国と完全にスタートラインに並んでいるとみている。従って今度の強化いかんによっては、我々の目的を果せるものと分析している。

一方底辺強化の一環として今年第二回ジュニア男女世界選手権大会が男子がデンマークにおいて、十月二十一日から十一月四日まで女子はユーゴスラヴィアにおいて、十月十三日から十月二十五日までおこなわれることになっており日本の男女チームを派遣することを決定しておりその準備をしている。第二回強化委員会で候補選手を決定しており協会に提出し最終的には日本協会が各選手、所属長の承諾書を受けることによって、正式発表にこぎつけることになっている。

従って男女の強化は今年に入り、従来のヤングナショナルを廃止しジュニアナショナルを結成し、しかもジュニアナショナルの活動の場がより具体的に与えられたことによって多くの選手達が世界の桧舞台で活躍できることは、強化をより具体的に一環性をもちできるようになった。また今回のジュニアナショナル選手、役員選出については、強化委員会としては以下の事柄を含めて決定した。

ヤングナショナルを廃止し、ナショナルチーム、ジュニアナショナルチーム（男女共）の二本立てとする。コーチ等の指導者体制は、それぞれのチーム専属とする。

一、選手選考の基準

ヤングナショナル選手選考基準に準ずるが、年令について以下のように改正する。

男子二十一才以下、昭和五十四年度は昭和三十二年以降に出生した者。

女子二十才以下、昭和五十四年度は、昭和三十四年以降に出生した者。

二、選考の対象

各連盟を対象とするが、男女共現行のヤングナショナル選手を基として考える。

高校については、昭和五十三年選抜大会を参考にリストアップする尚全国より身長男子一九〇センチ以上の者、女子一七〇センチ以上の者をも含めて考える。

その他の連盟関係は、連盟選出委員によってリストアップする。

三、コーチの選考

昭和五十三年度に選出したコーチ群に学連、高体連関係の指導者をも含めて選考することにする。

四、強化費用（国内費用）

全額自己負担とする。但し世界大会遠征費については、日体協より補助金が出される。（昭和五十三年十二月二十三日、強化委員会と高体連代表清水正氏、学連代表中沢重夫氏、実連代表山田稔氏とジュニア問題について話合いをした結果、費用の問題については当面は、零であっても協力をする。但し年次が進出にしたがい協会で適切な考慮を期待するし、ジュニア問題は強化の一環として協会が養成するものであり費用の問題についても当然考えていくべきであるとの結論に達した）。

五、選考手順

四月十五日、選考基準作成
五月十三日、選手選考
九月九日、世界大会メンバー案作成（男女）
役員各三名、選手各十六名の予定

以上がジュニアチームに関する事柄であるが日体協としても各競技団体にジュニア養成の必要性をとなえておりモスクワ以降の強化に向け、活発な強化養成の動きを示している。幸いにハンドボール界は、ジュニア世界大会を目標に準備を他競技団体にさきがけ実行できることは大きな評価になるものと考える。しかし先きにもふれたごとくこのジュニア対策は、今後いろいろな面で課題とならざるをえない。

□　□　□

〜各地学生春季リーグ〜

関東

4月21日から5月20日まで男子6部53校、女子2部14校が駒沢体育館などに参加して行なわれた。

男子1部は、序盤の混戦を切り抜けた日体、日大が無敗で優勝を争い、筑波、中央が追いあげるという展開になった。

3連勝を狙う日体は、法政戦を引き分け、アトのない試合をつづけ、精神的には日大有利とみられたが、第11日で顔合せした両校は逆に日大にプレッシャーがかかり、接戦をつづけたものの、勝負どころのPTをはずすなどして、日体の逃げ切りを許した。

こうなると日体に勢いがつき、残る中央戦も、後半一気の加点で快勝、3連続、通算26回目の優勝を飾った。

下位では、慶応が、各校に善戦しながら7位に終わり、早稲田も強力メンバーを揃えながら負け越してしまった。

2部は、昨秋につづき国士館が明治戦をおとしながらも優勝（4回目）。3部は駒沢が2シーズンぶり3度目、再び上昇機運。4部は横浜国大が初、5部は埼玉大が全勝で初、6部は首位決定戦の結果、文教が初優勝した。

一方、女子は、各校とも主力の卒業で不安定な試合運びを見せたが、東女体大がまずまずのデキで4シーズン連続9回目の栄冠を飾った。

リーグ終了後の入れ替え戦で、ついに芝浦工大が3部の座も守れず4部落ちしてしまい、オールドファンを嘆かせた。

日大またしても2位

◇男子1部

筑波 26（13−10 13−12）22 早稲田
日大 30（12−10 18−6）16 慶応
法政 19（9−8 10−10）18 中央
日体 27（13−6 14−7）13 順天堂
日体 13（9−5 4−8）13 法政 引き分け
日大 20（6−11 14−6）17 早稲田
中央 23（8−5 15−4）9 順天堂
筑波 15（11−9 4−5）14 慶応
日体 28（11−4 17−8）12 順天堂
筑波 18（9−7 9−9）16 法政
中央 19（11−6 8−8）14 早稲田
日体 20（12−3 8−14）17 慶応
筑波 23（14−5 9−2）7 順天堂
日大 18（9−8 9−4）12 法政
中央 18（8−5 10−8）13 慶応
日体 19（9−11 10−7）18 早稲田
慶応 19（11−3 8−4）7 順天堂
中央 22（9−10 13−10）20 筑波
法政 16（9−6 7−7）13 慶応
早稲田 28（14−6 14−4）10 順天堂
日大 17（7−10 10−5）15 中央
日体 21（11−12 10−8）20 筑波
早稲田 18（8−9 10−4）13 法政
日体 23（12−8 11−10）18 日大
法政 18（8−2 10−10）12 順天堂
早稲田 20（13−9 7−9）18 慶応
日大 27（17−11 10−14）25 筑波
日体 21（12−6 9−9）15 中央

【順位】①日体6勝1分②日大6勝1敗③筑波・中央4勝3敗⑤法政3勝1分3敗⑥早稲田3勝4敗⑦慶応1勝6敗⑧順天堂7敗▽得点王 西山清（筑波）53▽ベストセブン・GK井藤（日体）、FP松井、名嘉（ともに日体）、仲田、高梨（ともに日大）、植木（中央）、西山（筑波）

国士館が4回目の優勝

◇同2部

東海 21−11 横浜商大
明治 33−7 立教
明星 21−16 東京学芸大
国士館 26−9 茨城大
横浜商大 17−15 東京学芸大
国士館 32−4 立教
東海 22−9 明星
国士館 25−10 明星
茨城大 21−9 東京学芸大
東海 24−9 立教
東京学芸大 21−14 立教
東海 27−14 茨城大
国士館 27−7 横浜商大
明治 21−10 明星
横浜商大 20−11 明治
茨城大 20−12 明星
明星 27−18 立教
横浜商大 19−18 茨城大
東海 19−9 明治
横浜商大 23−14 立教
国士館 18−15 東海
明治 16−14 東京学芸大
明治 22−11 茨城大
国士館 38−9 東京学芸大
茨城大 26−9 立教
横浜商大 19−13 明星
明治 16−15 国士館
東海 25−15 東京学芸大

【順位】①国士館6勝1敗②東海6勝1敗③横浜商科大④明治⑤茨城大⑥明星⑦東京学芸大⑧立教▽得点王　大東秀雄（東海）66。

駒沢、関東学院おさえる

◇同3部

駒沢 16―14 東京工大
青山学院 16―9 大東文化
専修 18―7 芝浦工大
関東学院 12―11 大東文化
東京工大 14―13 専修
防衛大 19―13 芝浦工大
駒沢 18―14 関東学院
青山学院 19―12 芝浦工大
大東文化 23―16 東京工大
青山学院 25―12 東京工大
関東学院 22―9 芝浦工大
専修 19―16 防衛大
駒沢 20―12 芝浦工大
防衛大 21―14 大東文化
関東学院 13―11 青山学院
駒沢 21―19 防衛大
大東文化 18―9 芝浦工大
大東文化 19―17 専修
防衛大 26―18 青山学院
駒沢 23―16 専修
東京工大 26―7 芝浦工大
関東学院 15―10 防衛大
専修 19―11 青山学院
関東学院 19―6 東京工大
駒沢 14―13 大東文化
青山学院 18（分）18 駒沢
関東学院 21―16 専修
防衛大 21―10 東京工大

【順位】駒沢6勝1分②関東学院③防衛大④青山学院⑤専修⑥大東文化⑦東京工大⑧芝浦工大▽得点王　池川昭司（防大）63。

横浜国大が4部で初

◇同4部

東洋 13―11 横浜市大
東大 12―7 一橋
横浜国大 20―15 上智
東京経大 16―11 横浜市大
東大 13―11 東洋
東大 16―15 横浜市大
東洋 16―15 一橋
東京経大 16―11 武蔵
上智 24―11 武蔵
東大 14―11 東京経大
横浜市大 16―15 一橋
横浜国大 21―8 武蔵
上智 16―13 東京経大
一橋 12―11 武蔵
横浜国大 21―13 東京経大
横浜市大 12―11 上智
東大 25―11 武蔵
東京経大 14―10 一橋
上智 14―11 東洋
横浜国大 26―15 横浜市大
横浜市大 17―12 武蔵
横浜国大 24―14 東洋
上智 15（分）15 一橋
東京経大 15―10 東洋
上智 20―15 東大
横浜国大 18―11 一橋
東洋 17―15 武蔵
東大 13（分）13 横浜国大

【順位】①横浜国大6勝1分②東大③上智④東京経大⑤東洋⑥横浜市大⑦一橋⑧武蔵▽得点王前野雅（横浜市大）

埼玉大、全勝優勝

◇同5部

東京理科大 27―9 拓殖
千葉大 20―5 千葉工大
埼玉大 18―12 神奈川大
東京理科大 19―4 千葉大
神奈川大 30―11 千葉工大
武蔵工大 22―12 都留文科大
武蔵工大 26―12 拓殖
東京理科大 22―14 都留文科大
埼玉大 22―10 千葉大
東京理科大 28―18 千葉工大
神奈川大 16―9 拓殖
埼玉大 17―13 都留文科大
拓殖 10（分）10 千葉工大
武蔵工大 17―16 神奈川大
東京理科大 19―14 武蔵工大
都留文科大 21―10 拓殖
神奈川大 22―14 千葉大
東京理科大 17―14 神奈川大
埼玉大 17―8 千葉工大
武蔵工大 18―8 千葉大
都留文科大 25―9 千葉工大
埼玉大 20―8 拓殖
埼玉大 19―14 武蔵工大
神奈川大 19―16 都留文科大
千葉大 16―7 拓殖
都留文科大 22―9 千葉大
埼玉大 16―8 東京理科大
武蔵工大 21―11 千葉工大

【順位】①埼玉大7戦全勝②東京理科大③神奈川大④武蔵工大⑤都留文科大⑥千葉大⑦千葉工大⑧拓殖▽得点王宮沢賢二（都留文科大）56。

文教、創価破り首位

◇同6部・Aグループ

明治学院 23―15 山梨大
創価 17―9 成蹊
日本工大 17―9 亜細亜
創価 18―11 日本工大
成蹊 32―18 亜細亜
創価 19―13 明治学院
千葉商大 15―9 成蹊
成蹊 19―15 明治学院
日本工大 棄権 山梨大
千葉商大 18―13 亜細亜
創価 17―12 山梨大
千葉商大 20―8 日本工大
山梨大 19―13 成蹊
明治学院 21―17 亜細亜
創価 10―9 千葉商大
亜細亜 記録不明（引分け）山梨大
千葉商大 11（分）11 明治学院
成蹊 21―16 日本工大
創価 21―13 亜細亜

【順位】①創価②千葉商大③明治学院④成蹊⑤日本工大⑥山梨大⑦亜細亜

◇同・Bグループ

文教 30―14 農大
文教 26―8 工芸大
農大 11―7 都立大
工芸大 7（分）7 独協

都立大 棄権 和光
農大 13―7 独協
都立大 11―5 独協
文教 棄権 和光
都立大 17―7 工芸大
文教 25―10 独協
独協 棄権 和光
工芸大 棄権 和光
文教 25―14 都立大
農大 22―11 工芸大
農大 棄権 和光

【順位】①文教②農大③都立大④独協⑤工芸大⑥和光（＝棄権）

◇同・順位決定戦

▽1～2位
文教 21―10 創価

▽3～4位
農大―千葉商大のスコア不明

▽5～6位
明治学院 24―11 都立大

▽7～8位
成蹊 記録不明 独協

▽9～10位
日本工大 記録不明 工芸大

（注）11位以下は、和光大不参加のためAグループの山梨大を11位、亜細亜大を12位とし、和光大は13位扱い。

東女体大、混戦ぬけだす

◇女子・1部

①日体 11（8－3、3－7）10 日女体
①筑波 18（7－3、11－5）8 東京学芸
①東女体 31（14－1、17－1）2 茨城大
②筑波 12（6－4、6－4）8 東京学芸
②東女体 29（20－0、9－0）0 茨城大
②日女体 13（7－5、6－4）9 日体
①日体 33（17－4、16－1）5 茨城大
①筑波 11（5－4、6－3）7 日女体
①東女体 24（11－5、13－1）6 東京学芸
②東女体 15（8－4、7－3）7 東京学芸
②日体 27（16－0、11－2）2 茨城大
②日女体 14（7－5、7－5）10 筑波
①筑波 18（9－0、9－0）0 茨城大
①東女体 16（9－9、7－6）15 日女体
②東女体 12（7－4、5－5）9 日女体
①日女体 13（6－9、7－0）9 東京学芸
②筑波 23（13－3、10－1）4 茨城大
①日体 15（9－6、6－4）10 東女体
②日女体 20（9－1、11－3）4 東京学芸
②東女体 20（9－7、11－3）10 日体
①東京学芸 22（10－4、12－4）8 茨城大
①日体 11（5－3、6－1）4 筑波
②東京学芸 14（5－3、9－4）7 茨城大
②日体 15（11－3、4－3）6 筑波
①日体 24（11－5、13－4）9 東京学芸
①日女体 16（9－3、7－1）4 茨城大
①東女体 15（6－5、9－4）9 筑波大
②日体 27（13－4、14－2）6 東京学芸
②日女体 13（5－2、8－2）4 茨城大
②東女体 14（5－6、9－8）14 筑波
引き分け

【順位】①東女体大8勝1分1敗（勝ち点17）②日体8勝2敗（16）③日女体大6勝4敗（12）④筑波5勝1分4敗（11）⑤東京学芸大2勝8敗（4）⑥茨城大10敗（0）▽最多得点選手 矢野弥生（日体）61▽ベストセブン・GK稲葉（日体）、FP川波、浜村、藤本（以上東女体）、矢野、鈴木（ともに日体）、藤岡（筑波）。

2部は都留文大勝つ

◇同2部

青山学院 19―5 学習院女短
文教 17―5 千葉大
都留文科大 27―1 学習院女短
横浜国大 18―1 千葉大
都留文科大 17―5 東海
横浜国大 18―1 学習院女短
文教 8―6 東海
文教 23―5 学習院女短
青山学院 18―5 横浜国大
東海 12―11 千葉明徳
千葉明徳 17―5 千葉大
学習院女短 9―7 千葉大
千葉明徳 10（分）10 文教
横浜国大 10―7 学習院女短
都留文科大 14―6 青山学院
東海 16―9 千葉大
千葉明徳 18―4 学習院女短

（以下10試合記録不明。順位も都留文科大の一位以外は詳らかにしない）

関東学生入替戦

順天堂、1部に残れず

関東学生春季入れ替え戦は、5月23日、駒沢体育館で行われ、注目された男子一部では二部一位の国士館大が、一部八位の順天堂大を後半、速攻をまじえて突き放し一年二シーズンぶりの一部復帰を果たした。

また、関東学生史上初めて行われた女子一、二部入れ替え戦では一部六位の茨城大と、二部一位の都留文科大が激突、大接戦を演じたが、一部のスピードに慣れている茨城大がわずかに上回った。

このほか、駒沢大が二部返り咲き、名門・芝浦工大がついに四部落ちとなった。

◇男子・各部入れ替え戦

▽1～2部
慶応（一⑦）24（10－7、14－5）12 東海（二②）
国士館（二①）20（14－8、6－4）12 順天堂（一⑧）

▽2～3部
東京学芸大（二⑦）23（10－7、13－12）19 関東学院（三②）
駒沢（三①）23（10－10、13－7）17 立教（二⑧）

▽3～4部
横浜国大（四①）14―11 芝浦工大（三⑧）
東大（四②）棄権 東工大（三⑦）

▽4～5部
東京理科大（五②）16―12 一橋（四⑦）
埼玉大（五①）15―11 武蔵（四⑧）

▽5～6部
文教（六①）32―13 拓殖（五⑧）
創価大（六②）記録不明 千葉工大（五⑦）

（注）関東学生リーグでは、この春季リーグから、日本協会競技規則の運営規定とは別に「勝ち点同率の場合は対戦結果よりも総得失点差を優先する」という内規をとっている。

～各地学生春季リーグ～

新発売「ハンドボールスペシャル」

世界を制したスペシャル・ラバーシェルソールとは!?

●adidasは世界のスポーツシューズ総合メーカーです。●adidasの3本線はオリジナルです。

ヒールカウンター

adidasの発明、ヒールカウンターはタフな素材でショックや危険からヒールを守り、下肢を支え、3本線とともに素晴しい一体感を形成する大切な機能を果たしています。

Napoli

3155ナポリ
(赤×白) ¥7,500
●モデル「アテネ」の色違い

Athen

3150アテネ
(青×白) ¥7,500
●ベロアレザー甲皮
●シェルソール

3本線

adidasのスポーツ力学、整形学を集大成したユニークなアーチサポーター。「土踏まずを深々と抱えこみ、これ以上ありえないと評価される足との一体感を約束します。

Hand ball Special

(青×白) ¥19,000

■ベロアレザー甲皮。つま先、かかと強化。
■スペシャル・ラバーシェルソールは、3つの吸盤とストップ、回転グリップ、各機能をもつ3ゾーンにわかれ、床を正確に、そして安定感ゆたかにとらえ、その結果、あなたは、スピードとパワーに乗った大胆なプレーを、狙い通りに決められます。また、このソール構造は、関節への衝撃からくる傷害を防ぎます。
■つま先部には、9個の通気孔があり、靴内の熱気からくる疲れを抑えました。靴舌にも通気孔を採用。
■足首、かかと、靴舌に、はきごこちを高めるパッドを採用。

adidas®

●すべてのスポーツマンに 3本線のNo.1感覚を。

●お求めは adidas 特約店で。

総代理店 兼松江商株式会社
発売元 兼松スポーツ用品株式会社 〒532 大阪市淀川区木川東2-5-3 ☎06-305-1431
〒101 東京都千代田区内神田1-11-1(く橋本ビル) ☎03-295-5611

〜各地学生春季リーグ〜

関西

4月21日から5月27日までという長丁場の関西学生春季リーグは男子一部（7校）で大阪体大が3シーズン連続13回目の優勝、昨秋7位の近大は2位に進出して注目された。2部（7校）は関学が接戦を切り抜けて2度目の優勝、昨春についで1部への復帰を期待させたが入れ替え戦では敗れた。

3部（7校）は、昨秋につづいて大阪市大、4部（6校）は、京都工業繊維大が初、5部（6校）は奈良教大の2シーズン連続6度目の優勝となった。

リーグ後の入れ替え戦では、かつての1部上位校・桃山学院が4部へ転落してしまった。

一方、女子1部（6校）は、武庫川女が安定した攻守で8連覇、50年秋以来の関西学生リーグ連勝記録を46に伸ばした。2部（7校）は奈良教大が2シーズン2度目。

◇男子1部

同志社 24（11−9、13−10）19 京都産大
大阪経大 27（11−8、16−4）12 関大
阪大 21（13−8、8−10）18 近大
阪大 19（10−8、9−11）19 京都産大
引き分け
同志社 15（6−8、9−7）15 関大
引き分け
大阪体大 24（10−7、14−9）16 近大
阪大 29（16−11、13−6）17 関大
近大 14（6−6、8−7）13 大阪経大
大阪体大 12（5−9、7−3）12 同志社
引き分け
近大 24（12−7、12−6）13 関大
大阪体大 28（14−9、14−10）19 京都産大
大阪経大 19（12−8、7−6）14 阪大
大阪体大 25（16−8、9−7）15 阪大
大阪経大 14（6−6、8−7）13 同志社
近大 23（12−7、11−4）11 京都産大
同志社 28（17−6、11−12）18 阪大
大阪経大 24（16−9、8−7）16 京都産大
大阪体大 32（16−5、16−5）10 関大
近大 22（11−12、11−8）20 同志社
京都産大 27（11−12、16−9）21 関大
大阪体大 18（9−8、9−6）14 大阪経大

【順位】①大阪体大6勝1分②近大・大阪経大4勝2敗④同志社2勝2分2敗⑤阪大2勝1分3敗⑥京都産大1勝1分4敗⑦関大1分5敗

関学、全勝で首位に

▽同2部

立命館 15−9 大阪府大
神戸大 14−8 甲南
関学 20−5 京都教大
神戸大 16−15 大阪府大
立命館 22−12 京都教大
神戸大 23−12 天理
関学 17−15 甲南
天理 18−15 京都教大
立命館 23−13 甲南
天理 19−12 大阪府大
神戸大 26−18 京都教大
大阪府大 16−12 甲南
京都教大 14−12 甲南
立命館 16−15 天理
関学 20−12 神戸大
関学 15−8 大阪府大
大阪府大 11（分）11 京都教大
天理 25−20 甲南
神戸大 18−13 立命館
関学 16−11 天理
関学 15−14 立命館

【順位】①関学6戦全勝②神戸大5勝1敗③立命館4勝2敗④天理3勝3敗⑤大阪府大1勝1分4敗⑥京都教大1勝1分4敗⑦甲南6敗

▽同3部

京大 26−10 竜谷
大阪教大 17−11 桃山学院
大阪市大 26−12 大阪薬大
大阪市大 19−11 大阪教大
竜谷 19−16 桃山学院
京大 24−14 大阪薬大
大阪教大 33−13 大阪薬大
大阪市大 21−8 桃山学院
大阪工大 22−14 竜谷
京大 32−13 大阪工大
大阪薬大 24−18 桃山学院
大阪教大 15−12 大阪工大
大阪工大 17（分）17 大阪薬大
竜谷 20−14 大阪薬大
大阪市大 29−10 大阪工大
京大 26−14 桃山学院
大阪市大 23−11 竜谷
大阪市大 12−11 京大
大阪教大 18−11 竜谷
桃山学院 20−18 大阪工大
京大 15−14 大阪教大

【順位】①大阪市大6戦全勝②京大5勝1敗③大阪教大4勝2敗④竜谷2勝4敗⑤大阪工大・大阪薬大1勝1分4敗⑦桃山学院1勝5敗

▽同4部

京都工繊大 18−14 滋賀大
神戸商船 26−15 大阪歯大
滋賀大 28−14 姫路工大
神戸商船 24−12 京都外語大
京都工繊大 29−9 京都外語大
姫路工大 24−12 大阪歯大
京都工繊大 22−16 神戸商船
滋賀大 31−10 大阪歯大
神戸商船 20−14 姫路工大
京都工繊大 29−18 姫路工大
大阪歯大 25−11 京都外語大
滋賀大 15−9 神戸商船
姫路工大 27−17 京都外語大

滋賀大 22―8 京都外語大
京都工繊大 20―8 大阪歯大

【順位】①京都工業繊維大5戦全勝②滋賀大4勝1敗③神戸商船3勝2敗④姫路工大2勝3敗⑤大阪歯科大1勝4敗⑥京都外語大5敗

▽同5部
和歌山大 19―8 大阪外語大
追手門学院 17―12 大阪学院
和歌山大 17―9 大阪学院
奈良教大 13―11 大阪学院
関西外語大 26―9 大阪外語大
和歌山大 21―15 追手門学院
和歌山大 21―18 関西外語大
奈良教大 27―19 追手門学院
大阪学院 21―13 大阪外語大
和歌山大 15（分）15 奈良教大
奈良教大 24―8 大阪外語大
追手門学院 26―13 関西外語大
大阪学院大 15―14 関西外語大
追手門学院 24―8 大阪外語大
奈良教大 29―15 関西外語大

【順位】①奈良教大4勝1分②和歌山大4勝1分③追手門学院3勝2敗④大阪学院2勝3敗⑤関西外語大1勝4敗⑥大阪外語大5敗

桃山学院、4部へ転落

●男子各部入れ替え戦

▽4〜5部
関西外語大（四⑤）24―22 滋賀大（五②）
京都工繊大（五①）22―6 大阪外語大（五①）

▽3〜4部
奈良教大（四①）26―16 桃山学院（三⑦）
和歌山大（四②）19―13 大阪薬大（三⑥）

▽2〜3部
大阪市大（三①）16―14 甲南（二⑩）
京大（三②）11―9 京都教大（二⑥）

▽1〜2部
京都産大（一⑥）20（9―11、11―8）19 神戸大（二②）
関大（一⑦）21（12―7、9―9）16 関学（二①）

武庫川女、46連勝飾る

◇女子1部
大阪体大 16（7―3、9―4）7 大阪教大
成蹊女短 17（11―2、6―1）3 京都女
武庫川女 29（15―2、14―3）5 大阪薬大
京都教大 11（4―3、7―1）4 大阪教大
大阪体大 22（11―1、11―3）4 大阪薬大
武庫川女 29（13―0、16―3）3 京都女
京都教大 9（3―2、6―2）4 京都女
成蹊女短 15（11―2、4―1）3 大阪薬大
武庫川女 25（12―1、13―4）5 大阪教大
大阪体大 22（14―2、8―3）5 京都教大
武庫川女 13（5―2、8―1）3 成蹊女短
大阪教大 23（12―4、11―1）5 大阪薬大
大阪体大 13（5―4、8―3）7 成蹊女短
武庫川女 26（15―1、11―0）1 京都教大
京都教大 20（9―2、11―4）6 大阪薬大
大阪体大 19（9―4、10―2）6 京都女
成蹊女短 11（5―6、6―5）11 大阪教大
引き分け
大阪教大 6（3―2、3―3）5 京都女
京都女 8（4―3、4―4）7 大阪薬大
成蹊女短 8（7―2、1―5）7 京都教大
武庫川女 8（5―2、3―2）4 大阪体大

【順位】①武庫川女6戦全勝②大阪体大5勝1敗③大阪成蹊女短大3勝1分2敗④京都教大3勝3敗⑤大阪教大2勝1分3敗⑥京都女大1勝5敗⑦大阪薬科大6敗

▽同2部
和歌山大 19―13 関学
和歌山大 10―5 滋賀大
奈良教大 16―2 神戸大
関大 12―11 奈良女大
奈良教大 14―6 奈良女大
滋賀大 12―10 関学
関大 14―8 和歌山大
奈良教大 14―2 和歌山大
奈良女大 10―1 神戸大
関大 9―8 関学
滋賀大 13―3 神戸大
奈良教大 12―11 関学
奈良女大 14―11 和歌山大
関大 8―5 滋賀大
奈良女大 11―10 関学
和歌山大 15―5 神戸大
関学 16―5 神戸大
奈良教大 12（分）12 関大
奈良女大 7―4 滋賀大
奈良教大 10―4 滋賀大

【順位】①奈良教大5勝1分②関大5勝1分③奈良女大4勝2敗④和歌山大3勝3敗⑤滋賀大2勝4敗⑥関学1勝5敗⑦神戸大6敗

●女子入れ替え戦
関大（二②）9（6―5、3―1）6 京都女大（一⑥）
奈良教大（二①）11（4―5、7―5）10 大阪薬大（一⑦）

〜各地学生春季リーグ〜

パルパル エブリボディ。

5タイプそろったホンダのパルシリーズ。乗りやすさは共通。お好きなタイプが選べます。

ロードパルの仲間たちが、たくさん走りはじめています。あの道、この道が、急にバラエティ豊かになりました。スタイルいろいろ。色とりどり。乗る人の個性と、パルの個性が…なぜかぴったり合うのです。5タイプそろったパルのうち、あなたのお気に入りはどれですか。もちろん、やさしさ・乗りやすさは、みんなおなじ。気軽にどこかへ散歩、としゃれてみたくなります。

パルはユニーク。新しい仲間も、個性たっぷり。●パルフレイ：エレガントなデザイン。乗り降りのラクなU字フレーム(車体中央)。泥ハネから足もとを守るレッグシールドなど親切設計が特長。●パルホリデー：ユニークなヒップアップ・シート。しゃれた感覚のバーハンドル。タウンで似合うバイクです。●パルディン：スリムなパイプフレーム、イキなクロームメッキ・フェンダーがナウな感じ。

こぞんじですね、ラッタッタ。
ロードパル ——— 標準現金価格 ¥59,800

クイックスタート、とってもべんり。
ロードパル-L ——— 標準現金価格 ¥64,800

乗るかたへの心くばりがいっぱい。
パルフレイ ——— 標準現金価格 ¥75,000

しゃれたスタイル、タウンで似合う。
パルホリデー ——— 標準現金価格 ¥79,000

ヤングの感覚、ナウなフィーリング。
パルディン ——— 標準現金価格 ¥79,000

ヘルメットをかぶろう HONDA

「私のパル」を持ちましょう。

パルスクール 原付免許の取り方だけでなく、正しい乗り方指導までも実施しているのが「パルスクール」の大きな特長。ていねいにご指導しています。

ホンダ・クレジット わずかな頭金とかんたんな手続きでお求めいただけます。お支払い方法は、ご予算にあわせていろいろ。クレジットカードはいりません。

★パルスクールとクレジットの詳細は、ホンダ販売店でどうぞ。

本田技研工業株式会社鈴鹿製作所
●〒513●三重県鈴鹿市平田町1907●TEL鈴鹿0593：78－1212〈代表〉

〜各地学生春季リーグ〜

東海

4月28日から5月20日まで、名古屋市内、近郊の会場に男子3部17校、女子1部7校が参加して行なわれた。

男子1部は、名城の3シーズン7回連続目の優勝となったが、その勝ちかたは際どいものだった。

4勝同士の対決、名城×中京は名城有利とみられていたが、中京はGK上村の好守を支えにして健闘、攻撃陣も巧く好機をモノにし残り5分12―10と勝利を握ったかと思えた。

ところが、名城は、このあと驚くべき粘りで11―12、さらにタイムアップ寸前のPTを玉井が決めて引き分け、得失点差でタイトルを死守した。

女子は中京女が4連勝8回目。

中京惜しい星分ける

◇男子1部

名城 30（19―5、11―7）12 愛知教大

中京 36（21―6、15―7）13 南山

名大 16（8―5、8―5）10 愛知学院

名大 23（11―6、12―6）12 南山

中京 24（13―5、11―11）16 愛知学院

名城 31（19―3、12―1）4 愛知学院

南山 18（9―13、9―4）17 愛知教大

名城 20（14―5、6―6）11 名大

愛知学院 21（12―7、9―11）18 愛知教大

中京 25（15―6、10―6）12 名大

名城 33（15―7、18―4）11 南山

愛知学院 25（15―8、10―6）14 南山

中京 27（13―11、14―8）19 愛知教大

名大 17（6―12、11―5）17 愛知教大

名城 12（4―7、8―5）12 中京

引き分け

【順位】①名城4勝1分②中京4勝1分③名大2勝1分2敗④愛知学院2勝3敗⑤南山1勝4敗⑥愛知教大1分4敗

◇同2部

岐阜大 24―16 名古屋学院

名工大 13―10 静岡大

岐阜大 19―16 名工大

中部工大 23―12 静岡大

岐阜大 27―15 静岡大

中部工大 18―11 名工大

名古屋学院 16（分）16 名工大

名古屋学院 20―12 中部工大

岐阜大 23―17 中部工大

名古屋学院 26―12 静岡大

【順位】①岐阜大4戦全勝②名古屋学院2勝1分1敗③中部工大2勝2敗④名古屋工大1勝1分2敗⑤静岡大4敗

◇同部3部

愛知大豊橋 18―14 三重大

愛知大名古屋 17―14 滋賀大

日本福祉大 18―10 東海大海洋

愛知大豊橋 19―9 滋賀大

愛知大名古屋 29―28 東海大海洋

三重大 22―11 日本福祉大

愛知大豊橋 26―14 日本福祉大

滋賀大 21―16 東海大海洋

三重大 32―22 愛知大名古屋

愛知大豊橋 31―14 東海大海洋

三重大 26―14 滋賀大

日本福祉大 棄権 愛知大名古屋

愛知大豊橋 27―12 愛知大名古屋

滋賀大 17（分）17 日本福祉大

三重大 10―9 東海大海洋

【順位】①愛知大豊橋5戦全勝②三重大③日本福祉大④愛知大名古屋⑤滋賀大1勝1分3敗⑥東海大海洋学部5敗

中京女、中京の反撃かわす

◇女子

中京女 25（12―0、13―0）0 南山

中京 24（13―0、11―1）1 愛知学院

岐阜大 15（8―5、7―2）7 三重大

中京 27（16―1、11―2）3 三重大

岐阜大 17（7―2、10―4）6 愛知学院

愛知教大 10（2―3、8―0）3 南山

中京女 11（5―1、6―3）4 愛知教大

三重大 10（4―4、6―5）9 愛知学院

中京 28（16―2、12―1）3 岐阜大

南山 12（6―8、6―2）10 三重大

中京女 26（13―3、13―0）3 三重大

岐阜大 14（6―2、8―1）3 南山

愛知教大 16（7―1、9―0）1 愛知学院

中京女 23（14―0、9―2）2 愛知学院

中京 21（10―0、11―0）0 南山

中京 11（6―2、5―6）8 愛知教大

中京女 27（11―1、16―2）3 岐阜大

愛知学院 10（4―2、6―3）5 南山

愛知教大 28（10―2、18―1）3 三重大

愛知教大 13（7―4、6―2）6 岐阜大

中京女 13（6―8、7―3）11 中京

【順位】①中京女6戦全勝②中京5勝1敗③愛知教大4勝2敗④岐阜大3勝3敗⑤愛知学院・南山・三重大1勝5敗

東海学生入替戦

5月26日に名古屋市体育館で行われた入替戦は、すべて下部チームが昇格、入れ替えという波乱の幕ぎれとなった。

注目の一、二部入替戦では一部五位・南山大、六位・愛教大がリーグ戦の不調をそのまままちこんだ形で、若い力で台頭してきた二部二位、名学大、一位・岐阜大の速い攻撃にアッサリ一部の座を明けわたした。

名学大、岐阜大は、ともに昨秋一部から二部への転落の憂き目を見たチーム。ところが、名学大は星野、福田、一方の岐阜大も上野や森（康）といった二年生の若いメンバーの台頭により、一シーズンで一部にカムバックした。今秋の活躍が楽しみだ。

岐阜大、1部へ返り咲き

◇男子各部入れ替え戦

▽1～2部

名古屋学院（二②）21（8―7、13―7）14 南山（一⑤）

岐阜大（二①）21（14―8、7―9）17 愛知教大（一⑥）

▽2～3部

三重大（三②）20（11―7、9―10）17 静岡大（二⑤）

（注）来季から二部6校となるため今季三部1位の愛知大豊橋は自動的昇格。

〜各地学生春季リーグ〜

中四国

中四国学生春季リーグ（男子1・2部・5月26〜27日、岡山。男子3部、女子　5月19〜20　松江）は、男子1部で広島大福山が、宿願を果たし初優勝を飾った。

広島大福山は、50年春、1部に返り咲いてから上位校に定着、つねに優勝争いに加っていたが、52年秋から連続3シーズン、あと一歩が足りず2位に終っていた。

それが、今季は、接戦をつづけながらも、ほとんど危な気なく各試合を進め、最終戦・山口大との一戦も、前半につけられた4点差を一気に逆転、初優勝を飾った。

5シーズン連続を目指した山口大は、愛媛大に引き分け、広島大に敗れ、前半で脱落した。2部から初昇格の島根大は、精いっぱいの健闘で4位、好内容だった。

5校による2部は香川大が13シーズンぶり2度目。3部は5校で争われ山口大工学部が5シーズンぶり2度目。

女子は、3校の参加と淋しかったが、山口大が秀れた攻撃力で岡山県立女短大、岡山大を制し、5シーズン連続6度目の優勝を遂げた。

健闘した島根大

▽男子1部

チーム	得点	前半	後半	得点	チーム
広大福山	22	11―11	11―9	20	島根大
愛媛大	17	9―10	8―7	17	山口大
広島大	27	19―13	8―7	20	島根大
広大福山	19	9―7	10―7	14	愛媛大
広島大	18	8―8	10―9	17	山口大
広大福山	23	12―12	11―8	20	広島大
島根大	19	10―14	9―2	16	愛媛大
広大福山	24	16―9	8―12	21	山口大
広島大	28	15―6	13―7	13	愛媛大
山口大	31	20―6	11―12	18	島根大

（愛媛大―山口大は引き分け）

【順位】①広島大福山4戦全勝②広島大3勝1敗③山口大1勝1分2敗④島根大1勝3敗⑤愛媛大1分3敗

▽同2部

チーム	得点		得点	チーム
香川大	22	―	15	松山商大
広島工大	19	―	14	広島修道
香川大	16	―	12	岡山大
広島工大	28	―	17	松山商大
広島修道	22	―	12	香川大
広島工大	23	―	20	岡山大
広島修道	21	―	13	松山商大
岡山大	25	―	11	広島修道
香川大	25	―	14	広島工大
松山商大	21	―	10	岡山大

【順位】①香川大3勝1敗②広島工大3勝1敗③広島修道2勝2敗④松山商大1勝3敗⑤岡山大1勝3敗

▽同3部

チーム	得点		得点	チーム
山口大(工)	23	―	10	鳥取大
近大呉	23	―	18	鳥取大
高知大	15	―	12	鳥取大
近大呉	19	―	14	高知大
山口大(工)	15	―	10	高知大
山口大(工)	15	―	14	徳島大
徳島大	17	―	14	高知大
近大呉	17	―	15	徳島大
鳥取大	21	―	17	徳島大
山口大(工)	34	―	17	近大呉

【順位】①山口大工学部4戦全勝②近大呉工学部3勝1敗③徳島大1勝3敗④高知大1勝3敗⑤鳥取大1勝3敗

女子は山口大が5連覇

▽女子

チーム	得点	前半	後半	得点	チーム
山口大	15	8―4	7―0	4	岡山県立女短大
岡山県立女短大	8	4―4	4―3	7	岡山大
山口大	5	1―1	4―0	1	岡山大

【順位】①山口大②岡山県立女短大③岡山大

本決まりとなった東日本学生選手権大会

本誌既報（4月号）のとおり、東日本学生選手権（8月末）の開催が本決まりとなった。

一方の西日本のそれは、すでに永く続いている。今年も4月、第19回（女子第9回）大会が行われ大体大と武庫川女大が優勝している（4月号参照）。これで東西の両選手権が揃ったわけだが、じつは以前に「東日本学生選手権」と名乗る大会はあった。昭和27年と28年に行われていた読売スポーツ杯東日本学生トーナメントがそれ。また、35年頃の全日本学生王座東日本予選（北海道、東北、関東、東海）もそう呼ばれていたとする人もいる。

そんなわけで厳密には復活といえるこの大会、これからどんな性格づけがされていくのか興味深い。

〜各地学生春季リーグ〜

北海道

5月4日から3日間、釧路市で男子2部11、女子1部3校が激戦をくりひろげた。

男子1部では、昭和49年リーグ発足以来、10連覇していた北大が、教大旭川戦に逆転負けを喫して調子を乱し3位に転落するという大波乱があり、優勝は教大釧路のさらうところとなった。

教大釧路も第1戦を落とし、苦しい経過だったが、伊藤がよくチームをまとめ、そのあとの4戦をものにした。2部は新加盟の函館大が全勝優勝。

女子は3校リーグと淋しかったが、教大旭川が林、佐藤らの活躍で1位となった。

常勝・北大が敗れる

◇男子1部

北見工大 19（10-8、9-8）16 教大釧路
教大旭川 8（7-5、1-3）8 北海学園　引き分け
北大 21（10-5、11-5）10 室蘭工大
教大釧路 17（9-6、8-9）15 北海学園
教大旭川 19（12-8、7-5）13 室蘭工大
北大 24（12-6、12-6）12 北見工大
北見工大 15（5-6、10-7）13 北海学園
教大旭川 10（5-6、5-3）9 北大
室蘭工大 16（4-6、12-7）13 北海学園
教大釧路 11（5-4、6-2）6 教大旭川
室蘭工大 21（11-7、10-7）14 北見工大
教大釧路 14（6-5、8-5）10 北大
教大釧路 16（8-5、8-8）13 室蘭工大
教大旭川 15（7-7、8-5）12 北見工大
北大 17（11-4、6-8）12 北海学園

【順位】①北海道教大釧路4勝1敗②北海道教大旭川3勝1分1敗③北大3勝2敗④室蘭工大・北見工大2勝3敗⑥北海学園1分4敗▽得点王・遠藤稔美（道工大）31。

◇同2部

函館大 15―8 小樽商大
教大函館 18―10 道工大
北星学園 14―10 小樽商大
北星学園 17―11 道工大
教大函館 11―8 小樽商大
函館大 30―10 道工大
教大函館 12―11 北星学園
函館大 15―4 教大函館
小樽商大 15―12 道工大
函館大 22―14 北星学園

【順位】①函館大4戦全勝②北海道教大函館3勝1敗③北星学園2勝2敗④小樽商科大1勝3敗⑤北海道工大4敗

◇女子

教大釧路 5―3 北星学園
教大旭川 10―3 教大釧路
教大旭川 5―1 北星学園

【順位】①北海道教大旭川②北海道教大釧路③北星学園▽最多得点選手・佐藤美恵（教大釧路）6。

仙台大、1分するも優勝

◆在仙6大学春季リーグ（5月18〜20日・東北大中央体育館）

仙台大 13（分）13 東北学院
宮城教大 16―15 東北工大
東北大 13―11 宮城教大
仙台大 25―15 宮城教大
東北大 17―14 東北学院
東北学院 30―18 東北学院（工）
仙台大 18―10 東北大
宮城教大 20―16 東北学院（工）
東北大 28―11 東北工大
東北学院 20―13 宮城教大
東北大 23―13 東北学院（工）
仙台大 33―11 東北学院（工）
東北学院 18―16 東北工大
仙台大 29―12 東北工大
東北学院 32―9 東北工大

【順位】①仙台大4勝1分②東北大③東北学院④宮城教大⑤東北学院工学部⑥東北工大

九州女大、福大ら制す

◆福岡県学生春季リーグ（5月、福岡）

▽男子1部

九州産大 19―16 西南学院
福岡教大 23（分）23 久留米工大
福岡教大 18―12 福岡大
久留米工大 38―8 西南学院
九州産大 23―16 福岡大
福岡大 20―15 久留米工大
福岡教大 26―13 西南学院
九州産大 21―12 福岡教大
福岡大 24―11 西南学院
久留米工大 18―17 九州産大

【順位】①九州産大3勝1敗②久留米工大2勝1分1敗③福岡教大④福岡大⑤西南学院

【男子2部順位】九州工大3勝1分②九州大③九州共大④福岡工大⑤東和

▽女子（2回戦制）

福岡大 11―8 福岡教大
福岡大 17―11 福岡教大
九州女大 18―6 福岡教大
九州女大 14―12 福岡教大
九州女大 11―5 福岡大
九州女大 11―10 福岡大

【順位】①九州女大②福岡大③福岡教大

韓国から全北大（男子）、と釜山産大が来日

第12回（女子第7回）日韓学生交流は、韓国から男・全北大、女・釜山産業大両セブンを招き、6月5日から9日まで、国内各地で各4試合を行なう。

今年は、秋に男女のオリンピック予選を控えており、日韓交流はその前哨戦として注目されているが、特に、今回は、男子の韓国ナショナルは、学生主体とみられるだけに、興味深い。

◇

男子の全北大は、めずらしく国立校だ。日本協会強化部は、円光大、朝鮮大あたりをマークしていたようだが、その間隙をぬって代表権を得た。

これまでの日韓学生交流に、いちども登場していず、ほとんどデータはないが、本誌の得た情報では、技巧的なチームといわれ、パワー、スピードプレーは、あまり無い。

攻撃の主力は、181cmの金櫸誅、オールラウンドの姜徳寿あたりで安孝南、金永燮、安雄鎬、GK李仁徹らは、一昨年の日韓高校交流の高麗高メンバーだ。

3月、日韓社会人の団長として訪韓した竹野全日本男子監督は、「高校の有力選手は、ほとんど各地の学生チームに加っており、そのため、以前のように、大学で初めてハンドボールをする、といったことがなくなってきている。

各大学とも、スピード、パワーとも、相当なレベルにある」といっており、そのなかで、技巧派で鳴らす全北大が、どのようなプレーをみせるか興味深い。

○…男子・全北大…○

・監督	申普三	（37歳）
・コーチ	李商鐘	（33）
・G K	張文燮	176cm
	李仁澈	178
・F P	金櫸誅	181
	安孝南	178
	李泳朝	176
	姜徳寿	175
	金永燮	175
	金採寧	170
	呉漢鐘	170
	安雄鎬	170
	宋観永	168

○…女子・釜山産大…○

・監督	金潼得	（55歳）
・コーチ	姜正炫	（24）
・G K	金仁淑	165cm
	孫順福	163
・F P	梁明子	170
	李徳照	170
	金昌順	169
	金得善	166
	金貞淑	158
	陳済京	157
	厳貞淑	155
	金美淑	152

一年生ながら大型の女子

女子の釜山産業大も、この交流戦初登場。

名門・韓星女大が四年制を布き校名を改めたもののようで（注・韓星女大は別に残っているとの説もある）、ハンドボールに関していえばかなりのキャリアがありそうだ。

しかし、来日メンバーは、全員一年生。平均身長163cmとかなり大型である。

日本側に、資料らしいものはなく、僅かに金昌順、金貞淑のコンビが得点源と伝わっている程度。

韓国女子界は、昨年の世界女子選手権予選で、日本を倒したことによって、大きな盛りあがりをみせ、愛好者人口も増えているという。

そのなかで、学生界だけは、大きな伸びをみせず、加盟校も少ないようだが、来日する釜山産大と忠州工専あたりは、日本の実業団クラスの実力がある。

先天的なボールゲームセンスと脚力は、〝大きな武器〟で、韓国女子チームの流れをのぞくうえにも、釜山の試合ぶりは見のがせない。

迎える日本勢は、男女ともすべて各地のピックアップチーム。

男子は、関東が、ナショナル、ジュニアナショナルの代表メンバーを中心に攻守厚味のある布陣。

女子は、50年の第4回以来、1引き分けはあるものの、日本勢に白星がない。

しかし、国内レベルは、このところ確実に上ってきており、特に関東の充実は、久々の勝利が期待できる。

しかも、主力メンバーが、第1戦、東日本選抜（東北・関東混成）からも出場の予定で、うまくいけば、序盤2連勝も望める。

五輪アジア予選が行われる秋を前に、このシリーズが、どのような展開になるかは大きな〝意味〟をもってくる。

○…日　程…○

▽6月5日　男子・対東北学生、女子・対東日本学生（仙台）

▽6日　男女とも対関東学生（東京体育館）

▽8日　男女とも対東海学生（名古屋）

▽9日　男女とも対関西学生（大阪東淀川体育館）

オリンピック予選、具体化せず

半年後にせまったオリンピックアジア予選は、その後、具体的な進展が、みられない。

参加エントリーは、本誌既報のとおり、4月末〆切られ、男子は日本、韓国、クウェート、カタール、台湾、女子は日本、韓国、台湾が、それぞれ手続きを完了している。

ところが、肝心の期日、開催地について、いぜん、IHF（国際ハンドボール連盟）から、5月28日現在、正式発表はなく、これまでに伝えられた「11月下旬、台北」というのは、あくまで、IHFアジア選出理事・渡辺和美氏（東京協会々長）の私案というみかたさえ出はじめている。

渡辺理事は、この説を否定し、台湾開催は確定としているが、クウェート、カタールの滞在経費を日、韓、台で分割負担する、といった条項に、韓国協会が反発、日本協会も同調しそうなことや、カタールが、IOC（国際オリンピック委）に未加盟（今春3月現在）などの問題がからみ、それが、正式通知を遅らせているのではないかとみられる。

日本協会強化サイドは、「正式発表がないのは、落ち着かぬが、11月開催だけは間違いないといわれるので、既定方針で強化を進めたい」といっている。

プレス・ルーム〈21〉

杉　山　茂
―NHK運動部―

■停滞しているジュニア対策

ジュニア・ナショナルの編成がどうも、ぎくしゃくしている感じだ。

昨冬、世界選手権への参加を決めてから、もう半年近く経っているというのに、強化関係者に話を聞くと、どうにも要領を得ない。

もともと、ジュニアというのは次代をになうホープたちを探し出すのだから、選手の選考範囲の広さや、チーム編成にあたっての難しさは、ナショナルとは比べものにならない。全国の協力が不可欠だ。

強化部では、一応、高校選手も対象とすることになり、男子は身長190cm以上、女子は170cm以上の者と、決めているそうだ。

ところが、高校チームの関係者は、そのような話、初めて聞くという。

そのこと自体には、強化サイドの思惑もあるのだろうし、あえて反対するものでもないが、そこまではっきり決めているのなら、なんらかの形で〝発表〟してもらえませんかねエ、ともいう。

学生界、社会人界（主に実業団の若手）からのノミネートも、どこかで歯車が狂っており、女子では、出場資格のない昭和33年生まれの選手に、選考通知が届いているといった混乱ぶりだ。

ナショナルだけで精いっぱいのところへ、ジュニア問題を抱えて、それを消化するだけの体制は、いまの強化部にはない、と極言する人もいるが、少なくとも、このままでは、ジュニア問題が、すっきり片がつくまで、あと一ヵ月や二ヵ月は、かかってしまうだろう。

最近の日本協会の施策をみていると、肝心の人事が、どうも、その場あたりといった感じが強い。

同じハンドボールへの愛着といっても、得手不得手があるものだし、適材を適所に配してこそ、一つのパワーになることを、忘れてはなるまい。

ジュニア問題も、強化部内での位置づけが、はっきりしていないし、〈責任者〉が、誰なのかも不明確だ。

聞けば、ジュニア対策に本腰を入れはじめた日本体協は、ハンドボールのジュニア選手権派遣にも男女それぞれ四百万円ほどの予算をつけてくれたそうである。

そうした期待の事業でありながら、土台がぐらぐらしているのでは、どうしようもない。

すべての停滞が、その場あたりの人事にある、とはいわないまでも、少くとも、役員諸氏の任務だけは、しっかり決めておかぬと、とんだことになる。

ジュニア問題は、氷山の一角などと物騒なことをいう人もいるが、オリンピック前年、もっとも盛り上るべきハズの年に、あまりいい話が伝わってこないのは淋しい。

■ユニバーシアードへの参加

4月号のこの欄で、プレ・オリのことを書いたら、ユニバシアードへの不参加も、ハンドボール界のパワー不足が影響しているのですか、という質問をいただいた。

まず、ハンドボール界の名誉のために、ことわっておくが、ハンドボールは、ユニバシアードの実施競技に加っていない。

今夏のメキシコ大会に、ハンドボールが参加できないのは、日本ハンドボール界には、あまり、責任のないことである。

ユニバシアード競技からは、はずれているが、ハンドボールは国際学生スポーツ連盟（FISU）からは、公認され、ご承知の通り世界学生選手権も開かれている。

日本の学生界関係者は、なんとか、この大会を発展的に解消してユニバシアードへ包含させたい、と望んでいるが、ヨーロッパの、それも有力国の関心が低い。

昨年来日したスラビア・プラハ（チェコ）のJ・テサリーク監督は、永く「チェコ学生ナショナル」のコーチをつとめていた人だが、「ユニバシアードに包まれるより単独で開いていたほうがメリットがある」といったニュアンスで、事情を説明してくれた。

この場合のメリットは、競技収入が、ハンドボール単独の受け入れ口に入ることを示す。つまり、ユニバシアードに加ってしまうと高収入があっても、親組織に持っていかれてしまう、ということなのだろう。

最近二回、日本は世界学生へ代表を送っており、参加した人に聞くと、そう大観衆を動員しているわけでもないようなのだが、テレビや広告での収入が、大きいのかもしれない。

しかし、日本と同ようの考えを持っている国もしだいに増え、なかでも、A・サン・ロマンIHF副会長を先頭にしたスペインの動きは、FISUを動かすところまできている。

国内では、世界学生選手権との絡みで、数年前から、日本ユニバシアード委（JUSB）の準メンバーになっているハズだが、大勢としては、徐々にながら、ユニバシアード参加に向かっているといっていいだろう。

国際総合競技会といえば、注目の一九八四年のアジア競技大会（インド）。いちぢハンドボールの初採用有望といわれながら、ここへ来て黄信号が灯っている。アジアハンドボール連盟（AHF）は、日本など加盟国に、インドに対し働きかけをするよう緊急要請をしているが、見通しは、あまりよくない。

モスクワオリンピックニュース

日本協会国際部長・境井秀三

モスクワ・オリンピックの組み合せは、本誌3月号既報のとおりに決まったが、このほど、IHF（国際ハンドボール連盟）から、大会の詳細なスケジュールが届いた。

これは、昨年9月のIHF総会によって決められ、今回、正式発表となったものである。

～男子日程～

▽7月20日
於ソコルニキ体育館
17時　東ドイツ対アメリカ大陸代表
18時30分　ポーランド対スイス
20時　ソ連対ルーマニア
於ディナモ体育館
17時　デンマーク対アフリカ大陸代表
18時30分　ユーゴスラヴィア対アジア大陸代表
20時　西ドイツ対スペイン

▽7月22日
於ソコルニキ体育館
17時　ユーゴスラヴィア対アフリカ大陸代表
18時30分　西ドイツ対アジア大陸代表
20時　デンマーク対スペイン
於ディナモ体育館
17時　ポーランド対アメリカ大陸代表
18時30分　ソ連対スイス
20時　東ドイツ対ルーマニア

▽7月24日
於ソコルニキ体育館
17時　ソ連対アメリカ大陸代表
18時30分　ルーマニア対スイス
20時　東ドイツ対ポーランド
於ディナモ体育館
17時　西ドイツ対アフリカ大陸代表
18時30分　スペイン対アジア大陸代表
20時　デンマーク対ユーゴスラヴィア

▽7月26日
於ソコルニキ体育館
17時　スペイン対アフリカ大陸代表
18時30分　デンマーク対アジア大陸代表
20時　西ドイツ対ユーゴスラヴィア
於ディナモ体育館
17時　ルーマニア対アメリカ大陸代表
18時30分　東ドイツ対スイス
20時　ソ連対ポーランド

▽7月28日
於ソコルニキ体育館
17時　スイス対アメリカ大陸代表
18時30分　ポーランド対ルーマニア
20時　ソ連対東ドイツ
於ディナモ体育館
17時　アジア大陸代表対アフリカ大陸代表
18時30分　ユーゴスラヴィア対スペイン
20時　西ドイツ対デンマーク

各メダルと順位決定戦は7月30日、次の日程で行なわれる。

▽7月30日
於ディナモ体育館
11時　グループA6位対グループB6位
12時30分　グループA5位対グループB5位
14時　グループA4位対グループB4位
於ソコルニキ体育館
13時　グループA3位対グループB3位
17時　グループA2位対グループB2位
18時30分　グループA1位対グループB1位

一方、女子オリンピック大会についての6チームのうち次の5チームが出場資格を獲得している。

1、東ドイツ
2、ソ連
3、ハンガリー
4、チェコスロヴァキア
5、ユーゴスラヴィア

6番目の出場チームはアフリカ・アメリカ・アジア各大陸の勝者による予選トーナメントで決定される。この予選トーナメントは、アフリカに於て一九八〇年三月一五日から二〇日まで行なわれる。

モスクワでのプログラムは次のとおりである。

～女子日程～

▽7月21日
17時　東ドイツ対チェコスロヴァキア
18時30分　ソ連対3大陸代表
20時　ハンガリー対ユーゴスラヴィア

▽7月23日
17時　ハンガリー対3大陸代表
18時30分　東ドイツ対ユーゴスラヴィア
20時　ソ連対チェコスロヴァキア

▽7月25日
17時　チェコスロヴァキア対ユーゴスラヴィア
18時30分　東ドイツ対3大陸代表
20時　ソ連対ハンガリー

▽7月27日
17時　東ドイツ対ハンガリー
18時30分　チェコスロヴァキア対3大陸代表
20時　ソ連対ユーゴスラヴィア

▽7月29日
13時　ユーゴスラヴィア対3大陸代表
17時　ハンガリー対チェコ
18時30分　東ドイツ対ソ連

なおモスクワオリンピック大会の男・女アジア予選は一九七九年十一月に台湾の台北、高雄等で行なわれる予定であるが、最終的な参加国、月日、時間、組み合わせ等は五月末現在まだ公式通知が来ていない。

また、7月21日から8月5日までソ連で開かれるプレ・オリンピック（第7回スパルタキアード）のハンドボール競技に、日本は招かれていないが、日本オリンピック委員会から竹野奉昭・全日本男子監督が視察に派遣される予定。

こんなとき便利な

ダイワキャッシュカード。

日常のお引き出しに…

カード1枚で現金自動支払機から手軽に現金が引き出せます。通帳もハンコもいりません。サイフがわりにご利用を…。

時間外のお引き出しに…

ダイワの外壁に面したキャッシュコーナーでは、平日午前8:45〜午後6:00(土曜日は午前9:00〜午後2:00)まで、また マークのコーナーでは、平日午後5時、土曜午後2時まで現金が引き出せます。

ご出張やお買物の折に…

お出かけ先で現金がご入用になったときダイワの全店にあるキャッシュコーナーや マークのコーナーがお役に立ちます。

給与のお引き出しに…

給与振込制をご採用の場合は、お給料日の朝からカードを使って引き出せます。奥さまもご自宅近くのダイワでどうぞ…。

マークのコーナーでは設置場所により、お取扱い時間が異なる場合があります。
また、日・祝日および設置場所の休業日はお取扱いしません。

ダイワキャッシュカードは総合口座(普通預金)をご利用の方におつくりしています。お気軽にお申込みください。

あなたと明日を

預金も
信託も…

大和銀行

☆★☆★☆★☆★☆

海外トピックス

——杉　山　茂——
（NHK運動部）

今月は、ヨーロッパ4大カップ戦の結果を、お伝えしよう。

各大会とも、昨秋以来、勝ち抜き法式で熱戦をくりひろげていたものだが、今年から、決勝戦も、2回戦制となり、互いのホームコートに乗りこんでの試合ぶりが、いっそう、勝敗の興味をかきたてた。

注目すべきは、男子で西ドイツ代表が、いずれも東ドイツ代表を破り優勝したことだ。

世界チャンピオンの自信が、こうもたくましい作用するとは、思ってもみなかった。

両優勝チームの主力は、ナショナルチームの一員として、7月、日本の土を踏む。

一方、女子は、ハンガリー勢が両大会とも2位に終る不運。ソ連東ドイツの堅城を破り切れなかったのは、来年のオリンピックの〃実力図〃を投影したようなものだ。

第19回男子ヨーロッパカップの決勝戦は、TV・グロスバルスタット（西ドイツ）×SC・エムポール・ロストク（東ドイツ）の顔合せ。

グロスバルスタット冴える

第1戦は、久々に、ミュンヘンオリンピックのハンドボール大会場が使われ、一万人をこす大観集が集まった。

この声援に応えて、グロスバルスタットは、クルースパイスの巧技と、GKホフマンの妙技で4点差の勝利をあげた。

第2戦は、当然、この差をロストックが地元で追うわけだが、グロスバルスタットは、前半ピタリと、相手の攻守に食いつき、ロストックを慌てさせた。

しかし、ロストックもベーメ、バールらの豪快な攻撃で、タイスコアに、あと1点まで追いあげ、逆点ムードだったのだが、残り5分グロスバルスタットの反撃を許し、カップ獲得を逸した。

▽第1戦
TV・グロスバルスタット　14（8－6、6－4）10　SC・エムポール・ロストク

▽第2戦
SC・エムポール・ロストク　18（8－8、10－8）16　TV・グロスバルスタット

グンメルスバッハ大逆転

第4回男子ヨーロッパカップ・オブ・カップスの決勝戦は、VfL・グンメルスバッハ（西ドイツ）×SC・マグデブルグ（東ドイツ）の顔合せ。

ホームゲームが絶対有利といわれるヨーロッパ球界だが、このカードは、そのなかでも最たるものだろう。

第1戦、18－15と3点差をつけられて地元へ帰ってきたグンメルスバッハは、すべてをかけた第2戦を、常打ち場ともいえるドルトムントのウエストハーレンで行った。

一万二千百人という大観集をのんで、試合はスタートからエキサイト。

エース・デッカルムを重傷で欠くグンメルスバッハは、例年にも増してファンの声援をうけ、さすがに固くなった。リードを奪っても、マグデブルグの攻撃にすぐ追いつかれる苦戦。

前半終了間ぎわ、どうにか2点差をつけたが、逆転までには、あと2点要る。

マグデブルグは、クルーガーが要所のPTを冷静に決め、グンメルスバッハの猛攻に対抗、しだいに時間が経過した。

残り10分となって、グンメルスバッハは、全精力をディフェンスに傾けるような試合ぶり。

ここでの1点の失点は、2倍の傷となることを考えての策だ。

マグデブルグは11－14から追加点がとれず、ついにグンメルスバッハは、29分45秒〃決勝点〃をあげ、場内大興奮のうちに、2連勝を決めた。

▽第1戦
SC・マグデブルグ　18（11－7、7－8）15　VfL・グンメルスバッハ

▽第2戦
VfL・グンメルスバッハ　15（8－6、7－5）11　SC・マグデブルグ

キエフ、7度目の栄冠

第18回女子ヨーロッパ・カップの決勝戦は、スパルタ・キエフ（ソ連）×SC・バサス・ブタペスト（ハンガリー）の顔合せ。

男子のカップス以上に、ホームチームの利をみせたキエフの大逆転劇だった。

第1戦、ブタペストは、ベテラン・ステルビンスキーの大活躍でいちじは6点差をつけるなど、圧倒の試合ぶりで4点の貯金。

ところが、舞台がキエフに変わると、キエフはカルローワ、ツルスチーナ、スバレーワらが、すばらしい攻撃力をみせ、いきなり6－1。ブタペストも負けじと、クシクらで対抗するが、スタートのリードで気をよくしたキエフは、いちどは3点差まで詰め寄られたが、後半なかばから再びリズムにのり、1点差の逆転に成功、7度目の優勝をとげた。

▽第1戦
SC・バサス・ブタペスト　17（11－7、4－6）13　スパルタ・キエフ

▽第2戦
スパルタ・キエフ　14（8－3、6－6）9　SC・バサス・ブタペスト

リヒターら5連続の栄冠

第3回女子ヨーロッパ・カップ・オブ・カップスはTSC・ベルリン（東ドイツ）×フェレンクバロス・ブタペスト（ハンガリー）の顔合せ。

リヒター、クラウゼ、マッツら日本にもおなじみとなった顔を揃えたベルリンが、みごとに2連勝。

ホームゲームを苦戦しながら逆転でとったベルリンは、乗りこみ試合でも、多彩な攻撃でブタペストのディフェンスを切り崩し、快勝、去年につづいてのクイーンとなった。

▽第1戦
TSC・ベルリン　20（6－7、14－8）15　フェレンクバロス・ブタペスト

▽第2戦
TSC・ベルリン　20（11－6、9－9）15　フェレンクバロス・ブタペスト

海上自衛隊下総が制勝

▼千葉実業団春季定期戦（4月・丸善石油千葉）

▽一部リーグ

- 丸善千葉 21（12—6、9—6）12 海自木補所
- 出光千葉 19（9—5、10—5）10 日産石化
- 出光千葉 29（14—9、15—7）16 海自木補所
- 海自下総 29（13—6、16—3）9 日産石化
- 三井石化 12（キケン）0 海自下総
- 出光千葉 12（5—3、7—4）7 丸善石油
- 丸善石油 16（8—6、8—6）12 日産石化
- 出光千葉 18（9—7、9—10）17 三井石化
- 海自下総 22（13—4、9—7）11 海自木補所
- 三井石化 20（10—5、10—10）15 海自木補所
- 海自下総 23（9—5、14—9）14 出光千葉
- 丸善石油 22（7—4、15—4）8 三井石化
- 三井石化 17（9—7、8—10）17 日産石化
- 海自下総 20（7—9、13—5）14 丸善石油
- 日産石化 18（11—7、7—9）16 海自木補所

【順位】①海自下総4勝1敗②出光千葉4勝1敗③丸善千葉3勝2敗④三井石化2勝2敗1分⑤日産石化1勝3敗1分⑥海自木補所5敗

【2部順位】①陸自第一ヘリ②陸自下志津③海自館山④東電千葉

▽一・二部入替戦（丸善体育館）

- 海自木補所（一部）20（6—12、14—2）14 海自一ヘリ（二部）
- 日産石化（一部）23（9—5、14—10）15 陸自下志津（二部）

（日産石化と海自木補所は一部に残留）

横浜商工らが関東大会へ

▼第25回関東高校大会神奈川予選（5月・県立相模原高校ほか）

▽男子ブロック決勝

- 横浜商工 14—13 横浜商大付
- 相模原 21—12 横浜南
- 日野高 15—5 横須賀学院
- 法政二 15—9 柿生高

▽決勝リーグ

- 横浜商工 13（6—3、7—4）7 日野高
- 日野高 13（6—4、7—5）9 法政二
- 横浜商工 17（9—4、8—4）8 法政二
- 県相模原 11（4—4、7—5）9 法政二
- 横浜商工 12（8—6、4—6）12 県相模原 引き分け
- 県相模原 14（6—2、8—6）8 日野高

【順位】①横浜商工2勝1分②県相模原2勝1分③日野1勝2敗④法政二3敗（1・2位は総得失点差）

上位3校が関東大会出場

▽女子ブロック決勝

- 高浜高 15—10 百合ケ丘
- 明倫高 15—5 立野高
- 川和高 7—2 横浜東
- 県商工 4—2 金井高

▽決勝リーグ

- 明倫高 14（5—3、9—4）7 高浜高
- 川和高 7（3—1、4—4）5 県商工
- 明倫高 8（6—1、2—4）5 県商工
- 高浜高 8（3—1、5—2）3 川和高
- 高浜高 6（3—3、3—1）4 県商工
- 明倫高 12（4—0、8—1）1 川和高

【順位】①明倫3勝②高浜2勝1敗③川和1勝2敗④県商工3敗

男女上位3チーム関東大会出場

八幡工、彦根南が総体へ

▼滋賀春季高校総合体育大会（5月・彦根東高）

▽男子決勝リーグ

- 八幡工 32（16—5、16—6）11 安曇川
- 彦根東 13（5—6、8—5）11 米原高
- 彦根東 23（9—5、16—3）8 安曇川
- 八幡工 13（7—7、6—6）13 米原高 引き分け
- 米原高 22（10—3、12—8）5 安曇川

【順位】①八幡工業2勝1分②彦根東2勝1敗③米原高1勝1敗1分④安曇川3敗

▽女子決勝リーグ

- 守山女子 12（2—3、10—1）4 彦根西
- 彦根南 10（5—4、5—2）6 大津商
- 守山女 14（4—2、10—2）4 大津商
- 大津商 8（2—1、6—5）6 彦根西
- 彦根南 9（4—2、5—0）2 守山女
- 彦根南 10（7—0、3—1）1 彦根西

【順位】①彦根南3勝②守山女子2勝1敗③大津商1勝2敗④彦根西3敗

インターハイ出場校は男子・八幡工（4年連続11回目）女子・彦根南高（2年連続2回目）となった。

光陽と明倫が優勝

▼福井中学春季大会・福井地区（4月）

▽男子リーグ

- 進明 15—7 成和
- 光陽 16—15 進明
- 光陽 13—9 成和

【順位】①光陽②進明③成和

▽女子リーグ

- 明倫 12—1 成和
- 明倫 11—4 光陽
- 光陽 8—1 成和

【順位】①明倫②光陽③成和

昭和学院が強味示す

▼第32回千葉県高校総合体育大会（5月・生浜高校）

▽男子準々決勝

東葛飾 14—10 千葉南
清水高 18—3 柏高
佐原高 15—8 我孫子
八千代 18—10 市川高

▽準決勝

清水高 11—6 東葛飾
八千代 19—6 佐原高

▽3位決定戦

佐原高 13—7 東葛飾

▽決勝

清水高 14（7—4、7—7）11 八千代

▽女子準々決勝

昭和学院 15—3 沼南高
佐原女子 8—5 和洋女
流山中央 18—2 生浜高
東邦附 11—5 佐原高

▽同準決勝

昭和学院 15—3 佐原女子
東邦附 13—3 流山中央

▽同3位決定戦

流山中央 6—4 佐原女子

▽同決勝

昭和学院 11（4—2、7—1）3 東邦大附

（男女3位まで関東大会出場）

金沢市役所勝ちつづく

▼石川県一般春季大会（5月・金沢美術工芸大体育館＝男子のみ）

▽準々決勝

小松ク 20—12 レインボー
星稜ク 36—13 金沢美大
あすなろク 24—17 金沢工大
金沢市役所 25—15 金沢大

▽準決勝

あすなろク 19—18 小松ク
金沢市役所 35—11 星稜ク

▽決勝

金沢市役所 18（8—8、10—7）15 あすなろク

男子で中大附が貫録

▼東京都高校春季大会（5月・青山学院ほか）

▽男子決勝リーグ

中大附 26—11 拓大一
明星 14—12 駒大高
中大附 25—11 駒大高
明星 27—15 拓大一
駒大高 23—13 拓大一
中大附 22—9 明星

【順位】①中大附②明星③駒大高④拓大一

▽女子決勝リーグ

藤村女 9—3 佼成女
拓大一 18—8 神代
藤村女 17—5 神代
拓大一 10—2 佼成女
神代 7—2 佼成女
藤村女 11—9 拓大一

【順位】①藤村女②拓大一③神代④佼成女

（男女4位までが関東大会出場）

女子は暁が津女降す

▼三重県高校春季大会（4月・津女高）

▽男子準々決勝

四日市工 27—3 桑名工
亀山 24—10 津
津工 18—8 桑名
尾鷲 9—7 桑名西

▽同準決勝

四日市工 35—8 亀山
尾鷲 17—7 津工

▽同3位決定戦

津工 10—9 亀山

▽同決勝

四日市工 16（8—3、8—3）6 尾鷲

▽女子準々決勝

暁 17—1 尾鷲
菰野 16—1 上野
亀山 16—4 四日市西
津女子 9—1 四日市商

▽同準決勝

暁 9—4 菰野
津女子 15—3 亀山

▽同3位決定戦

菰野 17—4 亀山

▽同決勝

暁 7（3—1、4—2）3 津女

筑波大、2連勝飾る

▼第15回茨城県一般男子春季選手権（5月・茨城大）

▽準々決勝

筑波大 29—22 日本原研
自衛隊勝田 棄権 麻生ク
千代田ク 棄権 自衛隊霞浦
土浦三高OB 22—18 鉾田ク

▽準決勝

筑波大 棄権 自衛隊勝田
土浦三高OB 棄権 千代田ク

▽決勝

筑波大 31（14—9、17—8）17 土浦三高OB

氷見クと桜球会勝つ

▼富山県一般春季選手権（5月・高岡日大高）

▽男子1回戦（2試合）

富山教員 12—6 八尾ク
富山大 12—10 想球会

▽同準決勝

氷見ク 11—8 富山教員
富山大 棄権 射水ク

▽同決勝

氷見ク 27（13—3、14—6）9 富山大

▽女子1回戦（1試合）

桜球会 14—7 有磯OG

▽同決勝

桜球会 17（9—1、8—1）2 想球会

七戸ユニオンが制勝

▼第6回青森県社会人春季大会（4月・七戸町民体育館）＝男子のみ

▽準々決勝

青森ク 28—10 青商OB
野辺地ク 21—17 海自二空群
弘前大 33—7 尾上ク
七戸ユニオン 26—12 大湊地方隊

▽準決勝

青森ク 28—14 野辺地ク
七戸ユニオン 22—13 弘前大

▽決勝

七戸ユニオン 17（10—8、7—7）15 青森ク

西京商、塔南に快勝

▼京都府春季高校選手権（4月・城陽高）

▽男子準々決勝

東宇治 17—10 同志社
向陽 20—5 城南
洛北 11—6 乙訓
伏見工 16—7 桂

▽同準決勝

向陽 16—8 東宇治
伏見工 19—12 洛北

▽同決勝

伏見工 9（5—4、4—4）8 向陽

▽女子準々決勝

明徳商 9—3 京都商
塔南 7—2 日吉ケ丘
乙訓 6—3 精華
西京商 10—0 洛北

▽同準決勝

塔南 10—8 明徳商
西京商 9—3 乙訓

▽同決勝

西京商 9（5—0、4—1）1 塔南

日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第一七五号
昭和四十年六月七日
第三種郵便物認可
昭和五四年五月二十五日印刷
昭和五四年六月一日発行
発行所
日本ハンドボール協会
東京　区神南一ー一ー一
電話 (467) 七〇九七
振替 東京 五八三四八番
編集兼発行人 荒川清美
定価 三百五十円
(年間購読料 三千三百円)